



# 會工同窓会報

2019



## 校歌

嶺は秀づる磐梯山  
水は湛ふる猪苗代  
これぞ乾坤香靈の  
精氣鍾り成る處

明治三十七春なかば  
礎堅くきづかれて  
星霜ここに幾かへり  
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け  
鶴を徽章に雄雄しくも  
至誠勤勞一すぢに  
進む健児の意氣高し

峙つ嶺は峻しくも  
寄せくる波は高くとも  
これ奮闘の活舞臺  
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬  
作曲 新潟師範学校

# 第112回同窓会総会



令和元年10月19日(土) 令和初の福島県立津工業高等学校同窓会第112回総会がホテル「いづみや」に於いて54名の同窓会員出席のもと開催されました。

開会に先立ちこの1年にご逝去されました全国の同窓生の皆様に黙祷をささげご冥福をお祈りいたしました。

藤田晴史同窓会長のあいさつに続き渡部洋于氏(S32K卒)を総会議長に選出し議事に入りました。事業報告、会計決算報告に続き役員改選案を含む全議案可決承認されました。

また総会の席上、藤田会長より3年後に迫った「学校創立120周年記念事業実行委員会の設立」に向けて今年度中に設立準備委員会を立ち上げたい旨の話があり出席者全員、創立120周年への取り組みをあらためて認識し総会は閉会しました。

集合写真撮影後、懇親会に移りました。高梨哲夫校長、日下七重PTA副会長よりご祝辞を頂戴し菅家忠平様(S26E卒)より寄贈された樽酒の鏡開きを若狭顧問、藤田会長、田中副会長、高梨校長、日下PTA副会長によって行われ若狭顧問の発声による乾杯で祝宴に入り盛会にすすめられました。

幹事長 木村洋一(S50K卒)



藤田晴史会長あいさつ



渡部洋于議長あいさつ



総会の様子



高梨哲夫校長あいさつ



日下七重PTA副会長あいさつ



若狭顧問、藤田会長、田中副会長、高梨校長、日下PTA副会長による鏡開き



## 『同窓会報発刊にあたって』

同窓会 会長 藤田 晴史  
(昭40年電気科卒)

同窓会員の皆様、お変わりなくお越しのこととお喜び申し上げます。

本年五月に年号が「令和」と改まり、新しい年が穏やかに平和が続く事を願うとされ、「令和」は「ビューティフル・ハーモニー」と訳されました。

明るい未来が広がっている事を期待したいものです。

本年四月に、本校の校長に待望の同窓生である「高梨哲夫校長」(昭和五十五年機械科卒)が誕生し着任されました。

同窓生の校長は菊地巖校長に続いて二人目の事であり、同窓会にとっては百人力を得たものと、大変うれしく、これからの学校と同窓会活動の相互協力を密にし活動を活性化させていきたいと考えます。

しかし世界の情勢は諸外国間での経済紛争や宗教対立等が表面化し、不穏な空気が漂っています。日本も隣国との経済・外交問題が浮上し、国内では十月から消費税が十パーセントとなり、この会報が発行される頃には実施されています。同窓会運営に多少な影響がありますが節約に努めます。まいります。

各地の同窓会に出席させていただいておりますが、各同窓

会共に共通している事は、若い会員の参加が少なく、会員年齢が毎年高くなり、会員数を増やす方策に苦慮している事です。本部同窓会も同様です。方策を検討していきたいと思えます。

東日本大震災から八年半が過ぎました。近頃は台風・豪雨や地震等の大きな被害が頻発しております。台風十五号による災害・被害が連日報道されていますが、皆様の地域はいかがですか。被害に遭われた方々に御見舞い申し上げます。

会津は東日本大震災・原発事故でも被害が少なく、ここ十数年豪雪位で、災害の少ない地域です。会津に戻られる事を考えてはいかがですか。昨年東京会工会の方が御夫婦で会津若松市内に居を移されました。同窓会としては大歓迎であり、現在同窓会活動に参加しております。

本校は三年後の二〇二二年に創立百二十周年を迎えます。これから準備をして参りますが、会員の皆様の物心両面にわたる御支援・御協力を頂き、母校への支援活動を推し進めてまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、会員皆様の御健勝・御多幸と御活躍を祈念してご挨拶させていただきます。



令和2年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書 (案)

(自 令和元年10月1日～至 令和2年9月30日)

収入総額 5,598,354円  
 支出総額 5,598,354円  
 差引残額 0円

◎収入の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)増減	摘要
繰越金	1,190,054	1,379,251	-189,197	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生(240名×10,000円)
協力金	1,500,000	700,000	800,000	会員よりの協力金
総会費	500,000	500,000	0	総会費等の収入
雑収入	8,300	8,300	0	決算利息等
合計	5,598,354	4,987,551	610,803	

◎支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)増減	摘要
総会費	500,000	700,000	-200,000	総会関係経費
会議費	750,000	750,000	0	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	550,000	550,000	0	各支部総会時の旅費
事業費	600,000	600,000	0	広告代、各支部への助成
協力金諸経費	1,100,000	0	1,100,000	郵送費・サラト手数料等
卒業記念費	160,000	160,000	0	(校歌、応援歌、会工賛歌)CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	30,000	30,000	0	香典、花環代
消耗品費	50,000	70,000	-20,000	事務用品、その他
印刷費	450,000	410,000	40,000	会報印刷代(6000部)
通信費	200,000	200,000	0	郵送代、電話代
事務費	80,000	100,000	-20,000	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	928,354	1,217,551	-289,197	
合計	5,598,354	4,987,551	610,803	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

各支部への助成

- ・東京-10万・近畿-5万・東海-5万・若松-5万・福島-3万・日立-2万・郡山-3万
- ・猪苗代-3万・坂下-3万・いわき-3万・湯川-3万・会津美里-3万
- ・建友会-2万・会工電友会-2万・機友会-2万・セラ友会-2万

平成31年(令和元年)度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 平成30年10月1日～至 令和元年9月30日)

収入総額 4,841,755円  
 支出総額 3,651,701円  
 差引残額 1,190,054円

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)増減	摘要
繰越金	1,379,251	1,379,251	0	前年度繰越金
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生(240名×10,000円)
協力金等	700,000	429,545	-270,455	協力金(会員より)※
総会費	500,000	322,000	-178,000	総会費、御祝儀等の収入
定期解約・雑収入	8,300	310,959	302,659	決算利息・定期解約3件
合計	4,987,551	4,841,755	-145,796	

◎支出の部 (単位:円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)増減	摘要
総会費	700,000	485,952	-214,048	総会関係経費
会議費	750,000	758,976	8,976	各支部総会時の御祝儀、役員会補助
旅費	550,000	691,040	141,040	各支部総会時の旅費
事業費	600,000	641,790	41,790	広告代、各支部への助成
卒業記念費	160,000	147,000	-13,000	(校歌、応援歌、会工賛歌)CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	30,000	22,613	-7,387	弔電、餞別等
消耗品費	70,000	38,098	-31,902	事務用品、その他
印刷費	410,000	457,920	47,920	会報(6000部)、総会要項等
通信費	200,000	154,847	-45,153	郵送代、電話代
事務費	100,000	63,465	-36,535	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	0	-100,000	定期預金
予備費	1,217,551	90,000	-1,127,551	入会金返金
合計	4,987,551	3,651,701	-1,335,850	

○収入総額4,841,755円-支出総額3,651,701円=差引残額1,190,054円は次年度に繰り越し致します。

※協力金の精算内訳(株サラトより)  
 ・協力金入金額 1,458,000円(707口)  
 -振込手数料87,394円=1,370,606円…①  
 ・会報発行作業経費 900,000円  
 (郵送費5,138通 411,040円等含)…②  
 ・事務手数料 47,061円……………③  
 ①-(②+③)=423,545円

その他  
 協力金6,000円(3口・現金)  
 423,545円+6,000円=429,545円

会工同窓会会計・積立金  
 監査報告について

令和元年10月4日 現金出納簿・預金通帳および収入・支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めましたので報告いたします。

令和元年 10月19日

監事 佐野 常雄  
 監事 小山 源昭  
 監事 栗城 和夫

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 藤田 晴史 殿

会員相互の親睦を図り、母校と会発展のため以下の事業を実施した。

月 日	事 業	月 日	事 業
10月5日(金)	平成30年度会計監査	3月26日(火)	会工職員クラブ送別会
10月11日(木)	第3回役員会	4月8日(月)	会工入学式
10月19日(金)	会工電友会総会	4月12日(金)	創立記念講話 講師 会津大学 出村教授
10月20日(土)	第66回 若松会工会総会		
10月20日(土)	第111回 同窓会総会 講演会	4月12日(金)	会工職員クラブ歓迎会
10月27日(土)	福島会工会総会	5月18日(土)	郡山会工会総会
11月1日(木)	2018會工同窓会報発行	6月15日(土)	東京会工会総会
11月16日(金)	猪苗代会工会総会	6月16日(日)	東海会工会総会
12月1日(土)	会津美里会工会総会	6月28日(金)	建友会総会
12月15日(土)	いわき会工会5周年記念総会	6月29日(土)	近畿会工会総会
2月8日(金)	第1回役員会 新年会	7月6日(土)	機友会総会
2月28日(木)	同窓会入会式 表彰式	7月13日(土)	セラ友会総会
3月1日(金)	会工卒業式	9月1日(日)	坂下会工会総会
3月19日(火)	鶴翔会館管理運営委員会		



藤田会長より感謝状を贈呈される佐野氏

### 感謝状贈呈

前郡山会工会会長 金田 寛様 (S21M卒)  
 前猪苗代会工会会長 山口 一男様 (S37A卒)  
 前会工電友会会長 佐野 常雄様 (S31E卒)  
 の3名の方々に藤田会長より感謝状が贈呈されました。

### 支部会工会会長人事について

郡山会工会会長  
 金田 寛氏 (S21M) が退任、福地 勝氏 (S30M) が就任  
 猪苗代会工会会長  
 山口一男氏 (S37A) が退任、江花俊和氏 (S37T) が就任  
 会工電友会会長  
 佐野常雄氏 (S31E) が退任、鹿目忠明氏 (S40E) が就任いたしました。



## 校長あいさつ 「会工の現状」

校長 高梨 哲夫

同窓会会員の皆様には日頃より、母校の教育活動に御理解と御支援を賜りまして心より感謝申し上げます。私は今年四月に二本松工業高校より着任いたしました。本校の機械科を卒業後、会津の地を踏むのは四十年ぶりです。無量の喜びでいっぱいです。着任して最初に感じたことは、本校が地域の方から大変期待されている学校であるということです。特に地元企業との要職にある方々が卒業生であり、また地元に限らず全国で卒業生が活躍しております。そのような同窓生から、人材育成の要請を受け、本校ではこれからも社会に貢献できる生徒の育成に、一層取り組んでいきたいと思っております。

着任後、同窓会総会をはじめ多くの各地・各学科の会工会からお招きいただき、参加させていただきました。その際には、それぞれの会の役員や出席者の方々には大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。懇親会では、卒業した年度や学科を超えた、多くの会員の方々が、在学当時の思いを馳せ楽しく懇談されている姿が大変印象に残りました。

今年度は、生徒七百一十一名（男子五百七十八名、女子百三十三名）、全教職員八十八名の合計七百九十九名で平成最後の年を出発し、令和元年度を迎えたところです。学校全体に

活気があり、「文武両道」「至誠勤労」の精神の下「ものづくり教育」を適進しております。特に、資格取得や部活動をとおり、生徒が希望する進路への実現に向け、生徒・保護者・教職員が一丸となって取り組んでおります。今年度は、応用情報技術者試験や品質管理二級、危険物取扱者甲種など、難関資格に挑戦し見事合格しております。部活動では、弓道部、ボクシング部、水泳部が全国大会に出場するなど、生徒の活躍が光っております。これも、生徒は先輩方から受け継がれた伝統を確実に継承し、発展させ実績をあげております。私は、同窓生の一人として、また、第三十代目の校長として「自分の学校に誇りを持つこと」と生徒に話しております。

会津工業高校は百十七年の歴史と伝統があり、多くの先輩方が全国各地で活躍されています。そのことが、生徒には誇りとなることと思っております。また、私自身母校の校歌を大切にしておりますが、本校の生徒は私以上に大切に歌い続けております。

最後になりますが、本校の学校運営ビジョンは「社会に貢献できる人材の育成」をスローガンに、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、同窓会の皆様の御支援に感謝を申し上げます。今後さらなる御協力をお願い申し上げます。



昭和35年の校舎



令和元年9月の校舎



# 会工100年史編纂委員 江花光泰

会工の歴史のうち、学校長、同窓会長各氏について述べてきたつもりだが、たずさわられた多くの方々について分かったことから紹介したい。

## 昭和40年から50年代にかけて 勤務された英語の西口滋先生について

「おいしい、江花さん、卓球をやらうよ」  
昭和47年のことであろうが西口先生から声をかけられた。今は同窓会館「鶴翔」の場所だが旧講堂があり、全校集会、学年集会などに使われたところだが、あるときステージが撤去されて卓球台3台が入る、広いほうにはバドミントン部が使った。その頃の卓球部員は、機械科の独鉦正廣君、田代善一君、電子科の阿部三郎君の3名。同窓生名簿によると田代君は日立プラントテクノロジーに勤務、あとの2人は記載がなく会津の卓球に詳しい人にたずねたが知らないという。

割合高い位置からカットボールが来る。幼い頃馬場町の路地裏で洗濯の張り板にネット代わりのレンガブロックの間にピンポン玉の往復しかやってたことがなかったのだから西口先生も驚いたのではなかったのか。しかし私にとってはとても有難かった。そして先生とともに卓球部顧問となつたいま81歳になったがここ20年ほど、卓球は週4、5日、体を動かす私の健康の源になっている。

「いいな先生は英語ができるから、息子さんが住むアメリカに行っても安心ですね」と聞いたことがあったのだが「アメリカはとっても広いんだよ。地方地方で方言があつて、しゃべっても通じやしねいよ」といながら昭和51年

8月にはサンフランシスコに行く機会を得てサクラメントの州立図書館を訪れたという。目的は唯一つ移民団長のヘンリースネルのこと、このことを研究しているサクラメント在住のフアン・セイヤー婦人に「若松コロニーとおけいについて」を聞き取ったという。ハイウェイから外れた分かりにくい道その隣の山の頂に「おけいの墓」がある。こんなひと気のない猛暑のはげ山の上にボツと置き忘れられていた。そぐわないかもしれないが「鬼哭啾啾」の文字が頭の中に点滅した。もしかすると今では「おけいの墓」「若松絹茶農場」も州の史跡に認定されているのであれば安心なのだがと心配してお

られた。  
東山温泉の入り口付近の湯川べりの反対側で奥さんがみやげ物店をやっておられたのだが、お子さんたちに呼ばれて若松市内に住まいを代えられ、娘さんと電話でお話できたのはよかつた。  
本校の研究紀要誌「会工の教育」は昭和50年の創刊であるが、当時のものを見ると、「実践・調査報告」として国語、数学、社会、理科、体育など多くの先生方の作がある。

今頃どこまでくしゃみやみでもして居られようか。  
この「会工の教育」も平成27年度の第42号でストップしているとのことだ。大変に惜しいことだ。この42号には7

### 会工の教育

第3号 1976

目次	1
特稿 学習意欲向上のために	2
・研究・調査報告	10
・わが校における生徒の学力向上について	11
・中学生の学習意欲向上について	12
・国語の授業について	13
・英語の授業について	14
・理科の授業について	15
・社会科の授業について	16
・体育の授業について	17
・音楽の授業について	18
・美術の授業について	19
・保健の授業について	20
・職業科の授業について	21
・総合科の授業について	22
・家庭科の授業について	23
・外国語科の授業について	24
・キャリア教育について	25
・情報教育について	26
・環境教育について	27
・国際教育について	28
・生涯学習について	29
・生涯学習の意義について	30
・生涯学習の推進について	31
・生涯学習の課題について	32
・生涯学習の展望について	33
・生涯学習の事例について	34
・生涯学習の啓発について	35
・生涯学習の普及について	36
・生涯学習の発展について	37
・生涯学習の高度化について	38
・生涯学習の国際化について	39
・生涯学習のグローバル化について	40
・生涯学習のデジタル化について	41
・生涯学習のスマート化について	42
・生涯学習のモビリティ化について	43
・生涯学習のシェアリング化について	44
・生涯学習のプラットフォーム化について	45
・生涯学習のエコシステム化について	46
・生涯学習のオープン化について	47
・生涯学習の参加型化について	48
・生涯学習の協働型化について	49
・生涯学習の連携型化について	50
・生涯学習のネットワーク化について	51
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	52
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	53
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	54
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	55
・生涯学習のプラットフォーム化について	56
・生涯学習のエコシステム化について	57
・生涯学習のオープン化について	58
・生涯学習の参加型化について	59
・生涯学習の協働型化について	60
・生涯学習の連携型化について	61
・生涯学習のネットワーク化について	62
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	63
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	64
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	65
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	66
・生涯学習のプラットフォーム化について	67
・生涯学習のエコシステム化について	68
・生涯学習のオープン化について	69
・生涯学習の参加型化について	70
・生涯学習の協働型化について	71
・生涯学習の連携型化について	72
・生涯学習のネットワーク化について	73
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	74
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	75
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	76
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	77
・生涯学習のプラットフォーム化について	78
・生涯学習のエコシステム化について	79
・生涯学習のオープン化について	80
・生涯学習の参加型化について	81
・生涯学習の協働型化について	82
・生涯学習の連携型化について	83
・生涯学習のネットワーク化について	84
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	85
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	86
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	87
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	88
・生涯学習のプラットフォーム化について	89
・生涯学習のエコシステム化について	90
・生涯学習のオープン化について	91
・生涯学習の参加型化について	92
・生涯学習の協働型化について	93
・生涯学習の連携型化について	94
・生涯学習のネットワーク化について	95
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	96
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	97
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	98
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	99
・生涯学習のプラットフォーム化について	100

### 会工の教育

創刊号 1974

目次	1
特稿	2
・わが校における生徒の学力向上について	3
・中学生の学習意欲向上について	4
・国語の授業について	5
・英語の授業について	6
・理科の授業について	7
・社会科の授業について	8
・体育の授業について	9
・音楽の授業について	10
・美術の授業について	11
・保健の授業について	12
・職業科の授業について	13
・総合科の授業について	14
・家庭科の授業について	15
・外国語科の授業について	16
・キャリア教育について	17
・情報教育について	18
・環境教育について	19
・国際教育について	20
・生涯学習について	21
・生涯学習の意義について	22
・生涯学習の推進について	23
・生涯学習の課題について	24
・生涯学習の展望について	25
・生涯学習の事例について	26
・生涯学習の啓発について	27
・生涯学習の普及について	28
・生涯学習の発展について	29
・生涯学習の国際化について	30
・生涯学習のグローバル化について	31
・生涯学習のデジタル化について	32
・生涯学習のスマート化について	33
・生涯学習のモビリティ化について	34
・生涯学習のシェアリング化について	35
・生涯学習のプラットフォーム化について	36
・生涯学習のエコシステム化について	37
・生涯学習のオープン化について	38
・生涯学習の参加型化について	39
・生涯学習の協働型化について	40
・生涯学習の連携型化について	41
・生涯学習のネットワーク化について	42
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	43
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	44
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	45
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	46
・生涯学習のプラットフォーム化について	47
・生涯学習のエコシステム化について	48
・生涯学習のオープン化について	49
・生涯学習の参加型化について	50
・生涯学習の協働型化について	51
・生涯学習の連携型化について	52
・生涯学習のネットワーク化について	53
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	54
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	55
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	56
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	57
・生涯学習のプラットフォーム化について	58
・生涯学習のエコシステム化について	59
・生涯学習のオープン化について	60
・生涯学習の参加型化について	61
・生涯学習の協働型化について	62
・生涯学習の連携型化について	63
・生涯学習のネットワーク化について	64
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	65
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	66
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	67
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	68
・生涯学習のプラットフォーム化について	69
・生涯学習のエコシステム化について	70
・生涯学習のオープン化について	71
・生涯学習の参加型化について	72
・生涯学習の協働型化について	73
・生涯学習の連携型化について	74
・生涯学習のネットワーク化について	75
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	76
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	77
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	78
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	79
・生涯学習のプラットフォーム化について	80
・生涯学習のエコシステム化について	81
・生涯学習のオープン化について	82
・生涯学習の参加型化について	83
・生涯学習の協働型化について	84
・生涯学習の連携型化について	85
・生涯学習のネットワーク化について	86
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	87
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	88
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	89
・生涯学習のシェアリングプラットフォーム化について	90
・生涯学習のプラットフォーム化について	91
・生涯学習のエコシステム化について	92
・生涯学習のオープン化について	93
・生涯学習の参加型化について	94
・生涯学習の協働型化について	95
・生涯学習の連携型化について	96
・生涯学習のネットワーク化について	97
・生涯学習のデジタルプラットフォーム化について	98
・生涯学習のスマートプラットフォーム化について	99
・生涯学習のモビリティプラットフォーム化について	100

## 東京会工会 詩吟を趣味として楽しむ人生

小倉喜久男 (昭42卒)

令和元年は70歳を迎える私にとって収穫の多い忘れられない年になりました。令和初の東京会工会総会の懇親会・カラオケの部で小生の「詩吟入り歌謡曲」を披露させて頂きました。私は若い頃から親しんできた詩吟の全国大会(第32回 日本詩吟選手権大会)3月23日開催、於墨田区曳舟文化交流記念館)で優勝し、文部科学大臣賞と中日文化交流賞を頂きました。詩吟の大会は、各流派内部の大会、レコード会社主催の大会、所属連盟団体の大会等があり、今回は流派を超えて参加できる大会でした。



東京会工会総会 福島県立会津工業高等学校同窓会東京会工会総会 2019(令和元)年6月15日(土)東京上野・精華軒

山の盆踊りの音色、毎年の運動会で披露される白虎隊の剣舞と詩吟の魅力が忘れられず、メロディーを聞くと懐かしくなり、20代後半から始めました。我々の会工生の時はクラブ(同好会)として吟詠部がありまして。現在はどうぞでしょうか。

大二部に入學、そこでもバイオリンを演奏し、器楽アンサンブルで洋楽を楽しみました。その頃教職にも興味があり、教育実習を母校(会津工業高校)の工業化学科(現在のセラミック化学科)で2週間お世話になりました。卒業後、仕事で重要な仕事を任せられ始めポストも与えられ、教職とは縁がなくなりまして、夜間大学に通うことで、仕事をしながら残った時間を有効活用し趣味に活かせる貴重な経験を体得しました。その後、生涯の趣味探しが始まり、メロディーを聞くたびに琴線に触れ、心を癒してくれる、詩吟、民謡、琵琶を学び、最終的には詩吟に注力し探求しました。

て下さい。また来年の東京會工會總會(令和2年6月20日)には新しい「詩吟入り歌謡曲」を披露させて頂ければと思つていきます。興味のある方がこれを機会に、總會に出席するきっかけにして頂ければこれ以上の幸せはありません。

## 東海会工会

会長 三井 正春 (昭41A卒)

令和元年6月16日(日)に東海會工會定時總會を、名古屋西区の「味波 押切店」で開催致しました。来賓として、本校より高梨哲夫校長、同窓会本部長より若狭顧問、藤田会長、木村幹事、東京會工會より鈴木会計幹事、近畿會工會より本名事務局長の御出席をいただき盛況に会を進めることができました。

学校長始め、若狭顧問、藤田会長、木村幹事は前日、東京會工會の總會を終えられ、その足で愛知県の刈谷市で一泊されました。夕方から私と古川副会長、五十嵐幹事、佐藤会計幹事長の8人で、時間を忘れて楽しんで



東海会工会総会 令和元年6月16日(日)名古屋西区・味波 押切店

私は建築科を昭和41年に卒業して刈谷市に在住し、今年で53年になります。平成28年から地区の役員を仰せつかり、今年刈谷市23区の公民館長の会長職と多忙な毎日をお過ごしております。本年は全国植樹祭が愛知県で開催されました。6月2日に愛知県森林公園にて新天皇陛下をお迎えし、私も参加の栄誉を賜りました。

詩吟を始めたきっかけは、子供の頃に聞いて踊った会津磐梯

私は子供の頃から唄うのが好きで、中学、高校時代は合唱団で朝から晩まで唄い、高校卒業後、東洋インキに就職、会社の先輩の勧めもあって、東京理科

今後は後進の指導に勤しむとともに、同じ時代に生き、共感して喜んで頂ける老人ホームの慰問等に活かしていきたいと考えています。要望があればいつでも参上しますのでお声をかけ

住んでいる地区の行事として、盆踊り大会(8月)、敬老会(9月)、秋祭り(10月)、文化展

# 鶴雲飛翔



# 質実剛健

(10月)、行く年来る年(12月)、芸能音楽発表会(1月)、と休む暇がありません。地区の他に、刈谷市の公民館会長として、他の各協議会への対応と、目が回る忙しさで、好きなゴルフもやれない現状です。

そんな中で、平成28年8月24日にホールインワンを達成した時は嬉しかったですね。68歳で初めての経験でした。隣の町に住んでいる孫が、少年野球で全国へ！

第41回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に、サードで出場して、ベストエイトまで行ったことが最近で一番嬉しい出来事です。せめて応援に行きたかったのですが、盆踊りの準備が忙しくて…。

さて、東海会工会の現状は、平成27年作成の同窓会名簿人数が91名でした。令和元年の名簿は76名とメンバーが減少し、総会に出席してくれる人が少なくなるばかりです。

同じ母校を持った人々の集まりの会です。先輩後輩のわけ隔てなく話し合い、各行事の交流を通じて、楽しい会になって欲しいと、切に思いながら会長としての責務を努めていきたいと思っています。

## 若松会工会

福島民報社ノ本社社屋と印刷センターを視察し、アサヒビール製造工場で試飲の後「深緑の集い」で緊密な懇親の場に！

会長 浅田 誠 (昭43E卒)

本年度の「施設見学+深緑の集い」は、思考を変えて、会津方面より遠くで、魅力ある企業・施設であると共に、同窓生とのコンセプトの強い場所を選択できなかったか？との視点で、本年2/8(金)開催の「幹事会」でご提案申し上げましたところ、本会筆頭副会長の立場にあるS34E卒の渡部昭寿先輩のご長男ノ渡部育夫様が福島民報社地域交流部長を務めておられるとの情報を基に、アポイントした結果、ご快諾を頂くとともに二本松市にある新設後4ヶ月を経過するも、どの見学団体も成し得なかつた「印刷センター」の見学許可にもご尽力を頂き参加者一同この上ない喜びとなったところでした。

その後は、本宮市にあるアサヒビール製造工場「アサヒブルワリープラザふくしま」でアサ

ビールの製造工程の説明を拝聴するとともに、20分間の試飲時間があり、乾物のつまみを頂戴しながらビールのおいしい注ぎ方等も教えて頂きながらアサヒビール(株)の製品を各種試飲させて頂きました。

以降、夕刻迄には会津若松市に戻り、本校同窓生(S51L卒大島浩一様)が経営している「居酒屋ノ上酒林」で、密度濃く今回の研修会を回顧しながら、次年度に向けての意見交換をしたところでありました。



行程的には前述のとおりでありましたが、福島民報社様(印刷センター含む)の施設見学状況について記述し、皆様方の今後の施設見学の一助になれば幸いです。福島市の本社社屋では、DVDで取材から記事執筆、編集、印刷、配達までの流れを確認した後、編集局を拝見させて頂きました。記者やデスクの仕事内容を聞き、整理部では、紙面のレイアウトや見出しを付ける作業も見させて頂きました。

## 郡山会工会

幹事長 佐藤 亨 (昭38C卒)

拝啓 長い猛暑も一段落していからか過ぎやすい日々となりましたが、皆様方には健やかに過ごしのことお喜び申し上げます。

さて、当郡山会工会におきましては新規の会員登録も無く、会員数の減少が著しい傾向にある

# REPORT & MESSAGE

り、運営に大変苦労しているところでありました。

しかしながら、会の存続のため役員一同努力して参りますので、今後とも、ご支援ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

つきましては、先日の役員会で役員の大見直し、変更を行いましたのでご連絡いたします。

- 顧問 荒井 久(S18T)
- 顧問 金田 寛(S21M)
- 会長 福地 勝(S30M)
- 幹事長 佐藤 亨(S38C)
- 会計兼務 菊井 徹哉(S58D)
- 幹事 佐藤 友穂(S42D)
- 監事 小柴 久治(S24M)
- 監事 渡辺 寛二(S38C)

これからも少数精鋭で維持していきたく思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 坂下会工会

事業報告

会長 梨子本 傑 (昭41K卒)

●定期総会2019  
当会は昭和55年に設立され、設立41周年の定期総会2019を9月1日(日)に町内の割烹・「わたや」にて開催。役員



改選もおこなわれ梨子本会長が再任された。

総会終了後、講演会は町役場・政策財務課遠藤幸喜氏(幹事・昭59建築科卒)による「会津坂下町の町政について」の演題で講演をしていただきました。

主な事業としては、新入生へ記念品贈呈や坂下地区の同窓会対抗ゴルフ大会、記念会報の発行等です。その他の事業としては母校への支援協力、各校同窓会坂下支部との交流などであり

ます。次年度の総会は会員組織の充

実を図りながら来年度の総会には35名以上の参加を目標に活動していきたく。

●研修会・東京電力・福島第一原子力発電所視察  
10月22日に構内の環境改善が進んだ廃炉の現状を理解する目的。15名参加

●記念会報・2019  
昨年、設立40周年記念事業の際に下記の編集委員を任命し、会員の寄稿や各校の同窓会・坂下支部への依頼を開始。6月初めより編集作業を進めました。8月下旬に50部を再発行しました。

●役員会  
役員会は3回開催しました。1回目は12月初めに忘年会を兼ねて開催。2回目は4月の観桜会を兼ねての開催。3回目は7月下旬に総会に向けての開催。

●新入生へ記念品贈呈  
設立40周年の記念事業の一環として、坂下中学校より母校に入学された10名の生徒に、7月9日・校長室にて高梨哲夫校長

の立会いのもと記念品と会報を贈呈した。

●坂下地区の同窓会対抗ゴルフ大会  
恒例の校歌斉唱に始まり、山口一男会長の挨拶、ご来賓に祝辞をいただいで議事に入りました。最後に役員改選があり、新会長に江花俊和(S37T)、幹事長に金井好平氏(S47E)、幹事に小椋山勲氏(S49G)、会計に吉田聡氏(S52A)が選出されました。

当会は会員80名、総会出席者は例年15名が現状です。2022年は本校創立120周年です。

これを機会に会員の増を図りたいと思います。それには懇親

猪苗代会工会  
魅力ある事業の実施  
会員増が課題

平成30年11月16日(金)、ご来賓に藤田晴史会長、木村洋一幹事長、二瓶賢一校長をお迎えし、出席者は15名で定時総会を行いました。

恒例の校歌斉唱に始まり、山口一男会長の挨拶、ご来賓に祝辞をいただいで議事に入りました。最後に役員改選があり、新会長に江花俊和(S37T)、幹事長に金井好平氏(S47E)、幹事に小椋山勲氏(S49G)、会計に吉田聡氏(S52A)が選出されました。

当会は会員80名、総会出席者は例年15名が現状です。2022年は本校創立120周年です。

## 湯川会工会

薬師に護られて再開します

副会長 佐野 常雄 (昭31E卒)

休会中の湯川会工会のあゆみは、第18号の会報紙13頁に報告させて頂きました。

その中に、菅沼章生(昭29C卒)会長が体調不良のため施設入院中なので、総会も開けず、坂下会工会の総会に出席させて頂いてご指導を拝聴しておるところです。

そこで、湯川在住の卒業生の名簿を頂いて令和元年に、再開スタート出来るように頑張りますことを確約し報告させて頂きました。

ところで、吾、湯川村には、国宝勝常寺・薬師堂1棟・国指定文化財仏像が12躯・他村指定の仏像・絵画等30余躯・幅が存在し、私たち住民は、その恩恵を受けて、生れ、育ち、県立会津工業高校を卒業し、湯川村に

# 至誠勤労



# 初志貫徹

在住し地域社会に貢献されて居られる方々に、入会して頂き、隣の坂下会工友会さんのご指導を受けながら、元の湯川会工友会に再開したたく努力いたします。なお、恩恵の受けた「勝常寺」について掲載させて頂き、拝観下さいますよう案内申し上げます。

## 会津美里会工友会

た「高田御田植祭」を見学しました。「お茶会」・「御田植祭」には「いわき会工友会」よりゲストを迎え懇親を深めました。

●勝常寺拝観について  
 拝観期間 4月1日～11月15日  
 休館日 毎週火曜日、8月13日  
 16日、その他臨時休館有  
 拝観時間 午前9時～午後4時  
 連絡先 0241-274566  
 仏像拝観については要予約（外観は予約不要）  
 灯明料 1人500円以上



アポロ11号が月に着陸して今年で半世紀になりました。当時3年の夏休み前で、旧窯業科付近のテニスコート周辺の草むしりをしていたことが思い出されます。当時世界中が宇宙に夢中になり、その反面、月着陸映像は地球上での映像ではないかとの噂も出たほど熱狂に包まれました。後の大阪万博に当時持ち帰った月の石が展示されました。

学校を卒業して社会経済の変化、個人的にも色々ありました。が、半世紀が過ぎ、あと2年で古希を迎えようとしている昨今です。

会津美里会工友会では昨年より地域の文化・行事に参加しようということで、新鶴地区での地元産葡萄を使用した「新鶴ワイン祭り」、今年の5月には本郷焼茶碗を使った「向羽黒山城跡ふれあい茶会」を堪能しました。更に7月12日には今年から国無形民俗重要文化財に指定され

この間、同窓会本部の、当時会長であった若狭顧問、木村幹事長、会津美里会工友会からの資料提供等、絶大なるご協力、ご支援を頂きまことに有難うございました。現在いわき在住の同窓生は、約90名確認されていますが、そのうち約76%が65歳以上の高齢者であり、若い人の少ないことがいわき会工友会の将来に不安を感じます。後輩諸君のいわきでの就職、移住など考えて下さい。宜しく願います。

当会も会員が高齢化し、地域には同窓生が多数いますが、新たな会員が増えません。会工同窓会報を直接持参する等加入促進を図って行きたいと思えます。

## いわき会工友会 5周年

平成25年6月、会津に縁の人々による、会津いわき会の懇親会での立ち話がきっかけで、7月にいわき会工友会設立委員会を立ち上げ、9月29日の設立総会を経て5年が経過しました。

活動に欠かせない同窓会報への協力金を要望されましたが、未納の会員が数名、藤田会長にその場で納入を託しました。矢張り忘れていた人もいるのだなと思えました。

昨年の協礼金賛同者は、500部発送に対して671件は少なすぎると思っています。多くの方が忘れていたのだらうと思いますが、忘れずにご協力をお願いします。

二瓶校長による母校の現況報告で、私たちの頃は、染織、漆工、窯業、応用化学、機械、電気、建築の7科だったのが現在は、建築インテリア、セラミックス化学、機械、電気、情報技術の5科となり、機械、電気を除き名前が変わり時代の求めによる流れを感じさせられました。

総会のお祝いとなり、飲んで談笑しカラオケで歌って、最後に全員で応援歌「鶏鳴三度」、『頑張れ応援歌』で締め括り当時の青春を謳歌し終了しました。その後、街に出て二次会、三次会、四次会と、大変に楽しい一日を過ごしました。4年後の10周年は私の卒寿の年になります。その日まで元気でいられたら、ぜひ参加して声高らかに応援歌を歌いたいと思っています。

# REPORT & MESSAGE

## 建友会

皆様には日頃より建友会に對しまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和元年6月28日に御宿東風にて定例の建友会（現建築インテリア科）総会を開催致しました。今年も役員改選期であり、白井（S45卒）が引き続き2期目の会長を務める事になりました。長らくご尽力された河野正昭（S42卒）先輩が顧問に退き、副会長にベテランの菅原正晴（S50卒）君が昇格し、新たに新鋭の後輩渡川武彦（S58卒）君が監事として加わり役員一同頑張っております。

懇親会は、130名を超える出席者の元に馬場由布子・渡部春菜平成25年卒の女子コンピの司会で進められ、昭和23年1回卒の太田栄一・竹島行雄先輩も益々お元気で今年も参加されました。今年の春卒業の71回卒鈴木欄さん、久下熙君の2人の新人後輩も出席し社会人として大変素晴らしい挨拶をしてくれました。

さらに、会津工業高校昭和32年機械科卒の高梨哲夫校長先生



が出席なされ、最後の最後まで懇親して下さり、中締めをガンバレ応援歌で締めしてくださいました。嬉しい限りです。

また、恩師長谷沼徹、菅家慶広、佐藤聖先生の3人が参加し下さり、昨年の建友会懇親会への寄付のお礼と、生徒達の成果作品の展示・説明をしてくださいました。

今年も懇親会で皆様から寄付された大事な浄財を、9月17日に会津工業建築インテリア科の生徒達の教材費とし贈呈致します。

新しい動きとしては、小山源昭（S37年卒）前会長を部長と

会工電友会には平成7年（1995年）6月に設立。現在は昭和26年卒～昭和62年卒までの会員107名で諸活動を展開。会の年間の恒例行事を紹介いたします。

☆会報発行と卒業生への記念品贈呈  
 会報「電友会だより」を2月末に発行。各種活動や会員の近況報告などに加え、毎年、電気科の主任・卒業生担任・在校生から寄稿頂いており、電気科の先生方や卒業生・二年生に提供

## 会工電友会

事務局長 白井 達夫 (昭43E卒)

GOLF部会を発足致しました。会員の親睦と交流の一環として、強いては建友会への参加活動の促進に繋がり、当会の益々の活力有る発展に寄与すると確信しています。現在登録会員が30名を超え、7月13日（土）に12名の参加を頂き第1回が開催され、第2回の開催が10月12日（土）に開催することになっております。随時登録会員を募集しております。

☆施設見学会  
 地元企業等を訪問し、電気の活用・関わりや企業の認識を深めています。今回は、9月25日に「昭和電工(株)東長原事業所」さんを訪ねます。

☆定例総会  
 第25回定例総会を平成元年10月18日に開催します。毎年10月の第3金曜日開催の設定は、遠方の会員が同月第3土曜日開催の本部同窓会総会に参加し易いよう配慮したものです。懇親会



会工電友会 第24回定例総会

◎会員募集  
 最大の課題は会員拡大です。この同窓会報をご覧の皆様、ぜひ知人・友人や後輩をお誘いください。ご一報をお待ちしております！

〈役員募集担当〉  
 菊地 進 (昭47E)  
 ☎080-5551-9941  
 〈事務局〉  
 白井達夫 (昭43E)  
 ☎090-3753-5718

# 一意専心



# 機友会

会長 栗城 和夫  
(昭41M卒)

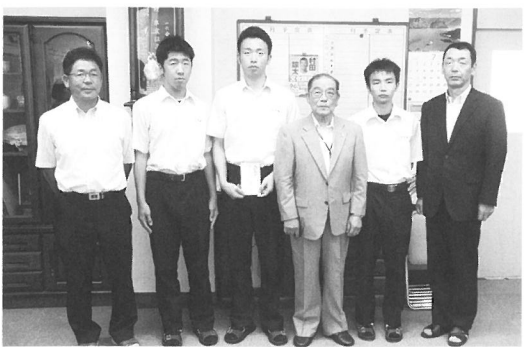
## 定時総会開催

会工機友会は、機械科・精密機械科の同窓生で平成11年に発足し、本年21回目の総会を7月6日(土)午後5時から日本料理「生粋」で開催いたしました。幹事長菊地登貴雄氏を進行役として、佐藤義之副会長の開会の言葉に続き、栗城和夫会長の1年間の活動に感謝の意を述べ、今後も会員増員の活動にご協力をお願いした。更に昨年機械科創設の恩人であります松江春次氏・兄の元若松市長松江豊寿氏兄弟の偉業を顕彰する市民有志の会から参加呼びかけがあり、本年5月18日に市内中央「高巖寺」において第1回目「松江豊寿・春次の偉業を称える会」による顕彰法要が行われた事を報告(会長所要のため欠席)した。議事に入り、平成30年度の事務・会計報告が承認され、続いて令和元年度の事業計画等が承認された。任期満了による役員改選が行われ次の役員が選任された。

顧問 片平 寛  
会長 栗城 和夫  
副会長 荒川富士雄

横川 牧雄  
武田 芳仁  
渡部 優生  
幹事長 菊地登貴雄  
常任幹事 本宮 淳一  
平山 恒雄  
佐藤 義之  
玉川 誠

会計監査 横川 牧雄  
事務局長 森田 哲郎  
計 吉岡 和也  
若松会工友会会長の挨拶の後、浅田誠若松会工友会会長の乾杯で懇親を深めた。



7月19日(金)本校校長室において、機械科生徒の活動を応援すべく、本年度15回目となりました激励金の贈呈式を行いました。

## セラ友会 事業報告

会長 二瓶 正人  
(昭37K卒)

### 定期総会開催

令和元年7月13日、会津若松市のホテルいづみやで開き、設立20周年の節目を祝った。約55人が出席し、校歌を斉唱し、二瓶正人会長があいさつ。本部同窓会への支援・協力や研修会並びに在校生の支援、会報発行など今年度事業計画を決めた。更に来年は設立20周年を迎えることになるのでその記念事業も組まれた。総会前、記念講演として宗像崇8代当主・宗像利浩氏(副会長・昭50窯業科卒)による「陶と心」の演題で講演された。懇親会には高梨哲夫学長、本部同窓会より藤田晴史会長、会津本郷焼事業協同組合・弓田



修司理事長、東京会工友会役員秋山利光氏(昭31年工業化学科卒)、各修養会会長をお招きし、更に長嶺忠雄氏の祝詞・浅沼定雄氏の剣舞・大関喜八郎氏による歌謡で20周年記念を盛大に行いました。

### 会報2019(第16号記念)発行

令和元年5月に発行。部数四百部。会長をはじめ昨年度の活動内容、会員の会員らの寄稿。また、同校セラミック化学科の

# 威風堂々

# REPORT&MESSAGE

## ●入会式

入会式は平成31年2月28日に母校のセラミック化学科の教室にて行いました。同科は窯業科からセラミック科への名称変更を経て8年前から現在の科名になった。セラミック化学科として8回目の卒業生となった。

卒業生38名が入会した。二瓶正人会長が歓迎のあいさつを述べ、新入会員代表の梶内雄介君に会長賞 全員に記念品を贈った。

## ●役員会・新年会

平成31年2月13日、母校同窓会館「鶴翔会館」にて開き、今年の事業として総会や設立20周年の記念事業(会員・セラミック化学科生徒作品による美術展等)、入会式、講演会、研修会の開催、会報の発行、組織充実などの案件などに取り組みことを確認した。終了後新年会を開き、出席者が一年の抱負などを語り合いながら交流を深めた。

## 昭和電工(株) 東長原会工友会

支部長 大塚裕一郎  
(平33C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び



2018年芋煮会

申し上げます。会工同窓会東長原支部は、昭和電工(株)東長原事業所の敷地内に立地する企業で働く、会津工業高校卒業生で組織されており、会員数は昨年より7名増加し78名(平成31年4月現在)在籍しています。今年も平成30年度の卒業生を新たに3名会員として迎えることができました。活動は会員相互の親睦を図るため、毎年春に総会、秋に芋煮会を開催しています。

例年、出席人数は20名前後で推移していましたが、昨年より役員体制を強化したことも一助となり、昨年の芋煮会32名、今年春の総会39名と半数の会員の皆様に出席頂くことができました。

また今年7月には、役員相互の連携強化と親睦を目的に発足以来初となる役員対象の総会反省会を開催し、今後の役員会の運営や近況などの意見・情報交換を行いました。今後も諸先輩が引き継いできた会工同窓会東長原支部の存続と発展のため、役員協同で活動を継続していく所存です。

## 三菱製鋼(株) 会工友会

会長 珊瑚 優治  
(昭59C卒)

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

この会は、三菱製鋼広田製作所に働く会津工業高校の卒業生で構成されています。

## 三菱伸銅(株) 鶴友会

幹事長 岡村 勉  
(平元M卒)

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

三菱伸銅(株)若松製作所の会津工業高校OB会、鶴友会について近況をご報告いたします。

活動などを掲載。さらに設立20周年に關しての記事も盛り込みました。

今まで発行した会報編集作業に於いては、すべて板垣正宏氏(35K卒)、梨子本傑(41K卒)が担当し、併せて広告も掲載しております。

### ●研修会

○秋のミニ研修会「県内の名所や紅葉を満喫」

平成30年11月1日、秋のミニ研修会を開いた。今回の研修は戊辰150周年に關連する喜多方市岩月入付地内にある白虎隊士・飯沼貞吉、米沢市地内の米沢藩主杉家廟所や上杉神社・歴史館、会津藩士・堀桑之助、近藤勇の墓所を巡り研修してきた。帰りには峠の紅葉をみながら帰宅した。

○春のミニ研修会「会津美里地区の窯元や名所を見学」

平成31年4月19日、春のミニ研修会を14名の参加で開いた。今回の研修は、本会が設立20周年の記念事業の一環としての研修なので会津本郷焼に關する宗像窯の登り窯、碍子製造会社・那須電機鉄工株式会社を見学。松江春次氏が寄贈した伊佐須見神社の鳥居さらに5月より開店するワイン製造・販売所を見学。ところどころの合間に満開の桜を鑑賞。

現在、鶴友会には106名の会員が在籍しており、今年も2名の会員を新たに迎え入れられた。

鶴友会の最近の恒例行事は5月の花見と12月の一泊総会が主だったものでしたが、昨年の幹事会で親睦旅行を再開させたいとの強い要望が上がりました。20数年前までは、土日を利用して2年毎に旅行を開催していましたが、現在の勤務形態は土日無関係の24時間操業で、4班制の指定休を取り入れているため、大型連休以外は全員参加の行事はできません。そこで今回は班別の旅行を立案し、昨年と今年の2年間で4班に分けた総当たりの博多旅行を計画しました。



博多旅行

# 温故知新



# 乾坤秀靈

昨年は都合により2班分を1回にまとめて11月に21名が参加し、今年は6月と9月の開催で計17名が参加します。観光は太宰府天満宮の参拝やフードコートで野球観戦を満喫。食事は水炊きやもつ鍋などのご当地料理に舌鼓を打ち、さらに会津とは異なる博多の夜の街を堪能してか、今年は昨年参加者のリピーターが多いのが特徴です。

短期間で複数回の段取りは苦労が堪えませんが、会員の親睦を深めることができたことは大変有意義であり、参加者の笑顔を見るだけでも開催して良かったと実感します。

今後も三菱伸銅と鶴友会の発展に尽力し、皆様のご健康を祈願して結びの言葉とさせていただきます。

## 第3章 組織

本会は、株式会社三和化学研究所に勤務する従業員の中で母校卒業生である正会員および本規定で定めた特別会員をもって組織する。

第4章 会員の資格  
本会の正会員は、株式会社三和化学研究所に勤務する従業員で、かつ母校同窓生であること。

2 本会の特別会員は、本会の正会員で株式会社三和化学研究所を円満に退社した者のなかで、本人の意思表示と正会員の全員了解を得た者。

第5章 事業  
本会の目的を達成するため、次の事業を行う。

① 会員相互の親睦を図るため懇親会を行う。

② 母校、在校生の支援を行うため、懇親会の都度会員全員から会費を徴収し、同窓会を通じて寄付を行う。

③ 母校、在校生の支援を行うため、同窓会の依頼による業務支援を行う。業務支援は、強制ではなく本人の意思を尊重する。

第6章 改正  
本規約に規定していない事項については、会員全員の賛同により決する事とする。

2 本規約の改正は、会員全員の賛同により決する事とする。  
附則  
1 本規約は2018年2月14日より4施行する。

## SKK会工会メンバー

- 1 羽金 良修(昭55C卒)
- 2 遠藤 彰洋(平9M卒)
- 3 太田 聡(平9J卒)
- 4 佐藤 貴典(平9In卒)
- 5 杉山 恵子(平10D卒)
- 6 片岡 茂樹(平11C卒)
- 7 丸山 潤一(平14C卒)
- 8 渡部 勝也(平14M卒)
- 9 薄 龍徳(平15J卒)
- 10 遠藤 優介(平15F卒)
- 11 佐藤 弘樹(平15J卒)



31.01.08 SKK会工会羽金良修(55C卒)設立による寄付

## OB会

- 12 歌川 有紀(平16E卒)
- 13 佐藤 恵太(平18E卒)
- 14 竹田 美香(平18K卒)
- 15 加藤 優二(平21E卒)
- 16 諏江 秀俊(平21C卒)
- 17 小川 真季(平23E卒)
- 18 稲澤 和英(平24E卒)
- 19 鈴木 良平(平25E卒)
- 20 皆川 涼(平26E卒)
- 21 佐藤 智紀(平27E卒)
- 22 星 宝(平28E卒)
- 23 秋山 宗大(平29E卒)



役員改選を行いました。尚、新会長に新國基次が就任しました。

総会終了後懇親会の席上、新國基次新会長のあいさつ後、新会員5名の紹介がなされ、母校からは来賓として学校長・高梨哲夫様に出席していただき、和やかな雰囲気のもとおこなわれました。



## 会工元気会 令和元年度 第22回 会工元気会2019

梨子本 傑 (昭41K卒)

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、毎年10月中旬に開催しています。今年は10月17日(木)に会津若松市内の迎賓館「寿し万」にて、第22回記念総会を約40名の出席のもと開催され、本田毅会長のあいさつ後議事にはいり、会計報告・

# REPORT & MESSAGES

## クラブス会

### 会工会富山

代表 山下 淳 (S34L卒)

昭和34年漆工科卒業以来59年、途中1回同級会の開催はあるものの、その後再会の機会がなく、併せて北陸地方もJR新幹線が開業3周年を迎え、併行して内陸部の道路整備も進んだ現状から、関東在住の者のJR新幹線乗車の強い希望があるなど、北陸地方初の55年振りとなる同級会開催にこぎつけました。平成30年9月19日から21日までの3日間「能登半島を巡る親睦研修会」と銘打って実施しました。会には関東組2名、名古屋から1名それに私と4名が参集し、再会を喜び合いました。宿での在学中の話には冗談も飛び出すなど笑いあり、涙ありの至福の一時でした。

会を訪れる機会の少ない能登半島を時間の制約から約半周するコースとなりましたが、全国的に有名な輪島市の朝市見学、これまた全国で1か所しかない砂浜の千里浜海岸ドライブ、能登鉄道観光観光列車の乗車、また観光バスドライブの機知に

とんだ解説があるなど、印象の強い同級会となりました。また、普段は太平洋の海、波しか見えないメンバーには、日本海の細かい荒い波、景色に関心を寄せていました。最後に、2年後は全員80歳になるので会津地方で開催しようという事で思い出多い会を散会しました。

## 寄稿

### 高校時代の思い出

会工電友会会長 佐野 常雄 (昭31E卒)

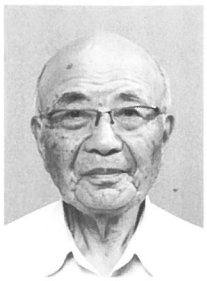
昭和30年、電気科在学中、菊地蔵科長から「工場経営」の教科を教わり、工場での物づくりは人がつくる、その「人」の善悪で良い物が出来る、心のこもった良い「人」にならなければならぬことを知ることが出来、当時、産業界は就職難であり、地元では会社・工場への就職は出来ず、父(51歳)の入院する病氣から、家業の農業を手伝いながら通える村のJA(農協)に9年間勤めることになりました。

JAは、農民の方々が、社会的経済的地位の向上する目的でつくられ、各種の資格を取得し、安心・安全の農作物をつくり、販売に勤め農家の方々からは喜ばれておりました。昭和40年からは湯川村役場職員として33年間の村公民館の社会教育を担当し、東北大学の講習で「社会教育主事」の資格を載せ、村民を対象とした「ゆりかごから墓場まで」生涯学習を推め、自分の職業以外に興味を持ち、健康な身体を保って仲間づくりをして、社会奉仕(ボランティア)、施設慰問をしています。

自家農業では、美味しい湯川米、畑からの野菜を親戚・兄弟・友達に差上げ喜ばれ、その声を聞きながら、田園・畑へ、朝4時に起床して、散歩30分、ラジオ体操10分、何時も携帯ラジオもって、聴えて、歌いながら毎日健康で、元気に働いていられることが本当に幸せでございます。

病氣は、早期発見・早期治療が大切のことから、村の総合健診は、毎年必ず受けております。

お陰さまで、老人クラブ会長・短歌会長・明社運動の事務



### 今、楽しんでいきますか。

佐々木 賢 (昭32K卒)

私ごと、横浜と会津を往復して10年間で、一年の半分を東山の奥山で過ごしています。私の息づく場所として、今の小屋テラス(自作)で、地域の人達(林業、土人形作り、漆器屋、町歯医者等)で、早朝毎月食事会をしています。また、この広場では、まちなか主婦さん達と花壇づくり手伝いの仲間になり、土造りの作業で汗流した後の、コーヒー飲み出来る楽しい時間になっていきます。ここは、回りが山に囲まれて、四季の変化を実感できる場所です。フツと息できるのは、多くの人達が集まって、語り合いで、体が自然に染んでしまうのか、ここに居る

### セラ友会設立20周年記念 美術展を開催して

二瓶 正人 (昭37K卒)

新しい令和の時代を迎え、セラ友会は設立20周年を迎えました。3回目の美術展は集大成として窯業・セラミック・セラミック化学による卒業生、旧職員を柱に同時開催として

1. 現セラミック化学在校生による作品展
2. 名誉顧問吉田一榮氏の回顧展
3. 本校、会津若松市ゆかりの松江豊寿、春次氏の兄弟

# 根性一途



# 百戦錬磨

展を8月18日～21日の4日間の開催でした。(来場者は推定700名前後)

生徒の作品にお客様より「いつから始めたの」「何作目」「題目はどうして付けた？」等臆する事なく応対する光景に、うちの孫や子供にも会工セラミック科に入学、勧めたいナー、又茶道関係に携わっている方、有識者の方々から会工天目茶碗の推移と優れた格調高い品位に、お誉めの言葉と驚きでした。

又学校長や大先輩からの書道写真撮影はプロ級で小冊子の編集など多士彩々でした。



S 27年卒業会津美里町在住で

陶芸家の渡辺正夫氏から日展入選作品や平成30年県文化功労賞の作品をセラ友会設立20周年の御祝と学校の教材に役立てて欲しいと寄贈がありました。

この様に歴史の伝統継承をベースにした美術展は、生徒の次世代に繋がる「セラ友会」の一体感とお客様の反響と関心を感しました。

時代、時代で新しい風が吹き、これからはもつと変革の波が予測されます。将来を担うヤングマンが会津工業で勉強したいナー、セラ友会に入りたいナー、そんな地域の方に選ばれる学校を目指すスタートの「美術展」ができた事に感謝します。実行委員の皆様、学校関係者、地域の方々、同窓会、各修養会の皆様、セラミック化学科の生徒、先生にこの寄稿文で御礼を申し上げます。一大イベントの成功!!本当にありがとうございます。以上



## 敗者復活戦 - ing

武藤 寛 (昭45C・47デ卒)

井の中の蛙 大海を知った時、中学時代から続けていたバスケット部を高校一年の時にあっさりやめ、母校坂下二中のバスケットの指導を始めた私は二中の先生に後輩思いの良い先輩だと認められ模擬試験の監督のアルバイトを頼まれ人集めの役目で頼まれ当時6組だったクラスの6人の人集めで只見線通学時はきれいな女子高生をみつければ「模擬試験の監督のバイトをしませんか」と話しかけてました。このバイトは高校(会工・工業化学科)3年、デザイン科(専攻科)2年と5年間続け、会女、若女、若商、ザベリオときれいな女の子達とお友達になった只見線の思い出です。

並行して部活動には興味があったので、どうせ入部するならば会工で一番強いクラブへ入ろうと(当時体操部と山岳部が全国インター杯常連校)迷わず山岳部へ入部、もともと料理が好きだったのでとてもおもしろく、高2の時には県インターハイは飯豊山、高3の時は浅草岳とイ



ンターハイ連続出場、デザイン科1年の時には県インターハイ指導員として田代山・帝釈山の大会へかり出され当時の写真、左はしのサングラスが私めです。

この大会での全国インターハイ出場校は女子は会女でした。もちろん記念撮影をして一緒に盛り上がりました。

デザイン科では絵の勉強もしながら音楽に目覚め、当時若者が夢中になっていたフォークソングにのめりこみカトリック教会へ出入りしフォークミサなどを行ない学生会ではギターで人をひきつけ、神父様に認められ土曜学校の英語教師として1年間先生のバイト、夜はスナック

で弾き語りしながらドリッブコーヒーをたて、ナポリタン、山菜うどん、カレーとぼちちりもてなし、労音のコンサートで赤い鳥と出会いお店へ案内し、コンサート終了後に一緒に酒盛り、それが紙ふうせんのマネージャーとしての芸能界入りのきっかけです。美人歌手と結婚に離婚。果てはレコード会社の宣伝課長として牧村三枝子、多岐川裕美、テレサ・テン、渡 哲也、早見 優と美人歌手と仕事をし、15年の芸能裏方生活にピリウドをうち33年前に帰郷、現在に致つております。

私の人生、まだまだ何か起きそうです。音楽、そして料理で人を喜ばす事を生きがいとしてこれからもマイウェイです。自宅にライブハウスを建てて20年、飲食店にサイン色紙はつきもの、沢田研二、渡 哲也、早見 優、有働由美子、柳澤秀夫さんの色紙、ひまがあつたらみに来て下さい。おいしい酒のつまみでもってなし致します。オリジナル料理も20種類を超えました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

追伸、オリジナル料理に興味をもった方々へ料理教室をはじめました。3人以上まとまれば開催致します。NHK「あさいち」にもレシピを送りました。

# REPORT & MESSAGE

会工OBは誰でも、女子は美人のみ一見客はおことわりの完全予約制です。

## 現在・未来の自分

石川 善一 (昭39E卒)

私は、建設会社を定年退職後、関連会社に社長として4年勤め、その後6ヶ月間充電し現在の機械製造会社に顧問とし8年以上勤めている。後2・3年勤務したい。幸い身体はメタボ気味であるが、全く健康体である。モットーの「デブで健康」を実践している。特に血圧を正常に維持する為、日夜努力している。

では、現在の会社の勤務状態を紹介したい。出勤は、週2日の契約であるが3日間出勤している。1日はサービスマンである(忙しい)朝6時半起床。7時半に家を出て25分徒歩で最寄の駅へ。その後3回の乗継ぎ、2時間半掛けて東大阪市の会社へ出勤。10時から始業となる。毎月初め月末は請求書を作成・投函する。普段の日は、日報整理・注文書の整理・協力会社への発注・元請への見積書作成、提出等を行っている。月の中旬は比較的暇になる。その間2ヶ月に1回の血液検査に向く。毎月末の週

は、元請会社の安全衛生協議会に(兵庫県三木市)に出席しその後会社の工場(兵庫県朝来市)で打合をする。いずれも車の移動。次に一日後別の工場(三重県いなべ市)の安全衛生協議会に出席する(自動車移動)いずれも片道2時間半の強行軍?である。以上の様な勤務を8年間している。前にも言ったが後2・3年は勤務したい。なお報酬については、年金に影響の無いように安いが実はもう少しほしい。営業経費として飲食代を負擔してくれる。又交通費(実費)、通信費(実費)、昼食費も会社負担なのでまあ満足している。元請・会社の人達とは良い関係なので働く事に關しては、楽しい。会

工同窓会、京都同窓会、福島県人会、小中校同窓会、電気課同窓会と同窓会には出来るだけ出席したい。又会社の懇親会、建設会社のOB会、行事。友人との飲み会、同好会(ゴルフ)等色々な行事がある。結構忙しい。健康第一で、少しでも医療費の削減に寄与し社会福祉の充実に貢献できればと思う。健康寿命をぜひ延ばしたい。

## 県マスターズ駅伝二連覇達成!

高橋 誠 (昭60E卒)

県マスターズ駅伝とは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代の5名でチームを組んで、1人4キロを走り、襷を繋ぐ駅伝のことです。この大会は毎年9月の敬老の日に、あづま運動公園で開催されています。この駅伝で常に優勝しているのは、高校時代の強豪校である日大東北高校と田村高校です。

我々の会津工業高校は、40数年前には全国高校駅伝にも出場する古豪でありました。この時の陸上競技部員が中心の第12回大会に参加し、入賞は逃したものの久々に駅伝の醍醐味を楽しみました。

その結果から、2017年の第13回大会には、日大東北高校や田村高校に勝つため、湯田哲郎監督(S56D)と倉本浩二キヤプテン(S57A)の下、現在も現役として各種マラソン大会などで走っている方を集め、優勝を狙う鬼チームと、楽しんで走る亀チームの2チームで参加

し、鬼チームが初優勝しました。2018年の第14回大会では、選手5名中2名を入替え、二連覇を目指すチームが出来ました。レース展開は、優勝を狙う鬼チームは、1区(20歳代)の一重嶺太選手(H21F卒)が区間4位の激走で2区(40歳代)の五十嵐由次選手(H5E卒)へ襷を繋ぎ、五十嵐選手が区間賞の走りで見事に僅差まで追いつめ、3区(50歳代)の高橋誠選手(S60E卒)が区間賞の走りで先頭に立ち、4区(30歳代)の大堀利文選手(H11A卒)が更に後続を引き離しました。5区(60歳代)はアンカーの横山選手(助っ人)で追い上げる日大東北高校を何とか振り切り、強豪校の2校を破り二連覇達成しました。

また、駅伝を楽しむ亀チームは、1区の佐藤勝弘選手(S58C)、2区の渡部新二選手(S57A)、3区の倉本浩二選手(S57A)、4区の眞部誠選手(S59M)、5区の猪股隆行選手(S50L)が襷を繋ぎ、入賞は逃したものの12位でゴールしました。

この駅伝へ参加するため、昔のユニフォーム(白、赤)のレ



プリカ版を作成し、昔を思い出しながら、あづま運動公園内を走りました。これからは、会津工業高校OBチームが、常に優勝に絡めるよう定期的に親睦を図りながら、皆で頑張ってください。

また、今年(2019年)は会津農林高校OBチームも優勝を狙える選手構成で初参戦しますが、我々は三連覇目指して頑張ろうと思います。

以上

# 破顔一笑



# 今年度受賞・活躍された先輩

## 一番になりたくないか

高橋 克幸  
(平21C卒)

一番になるというのは、抜群に気持ちが良いことである。テスト順位。部活動の大会。学校で評価されないようなゲームやイラストなど趣味のことでいい。恋人から一番愛されている。一番の親友から同じように思われている、でも良い。なんでも良い、ナンバーワンを体験したことはあるだろうか。君たちに伝えたい。頂点だからこそ見える景色というのは、2位以下を圧倒的に引き離してズバリ最高のものだ。

うだつのあがらない日々を送っていた中学生の頃、当時私は病気であまり学校に通うことが出来なかったが、先生の勧めで絵画コンクールに出展した。それが人生の転機だった。今までで一番悩み、考え、楽しんだ結果、賞を頂いた。最高に世の中がキラキラして見えた。その勢いで美術の大学に進学した。そして大学進学後は絵以外にも部活動でタッチフットというスポーツにも挑戦した。国内競技人口約2千人のマイナースポーツだが、新しいことに挑戦したい一心で入部した。みんなで夜通し作戦を考え、前代未聞なトリ

# 迅速果敢

ックプレーもたくさん練習した。その結果、最後の最後で東北大会を制覇した。苦勞が実った瞬間は仲間と抱き合いながら大泣きした。自慢話になってしまっただが、10代20代の時期に「一番」をたくさん経験した。黙々と努力することの気持ち良さ、結果が表れた時の幸せの味、怠け者だった私の人生に彩りが生まれた。大げさではなく、世界が変わった。

さて、一番になる人はどんな人か。それは効率よく努力し、諦めたり、ふてくされたりせず、少したけ運のある人だ。自分に自信がなかった頃は辛くなる



すぐに言い訳を探していた。あまつたれていたので。諦めたくなつたらもう一歩だけ踏み出そう。言い訳しないで動こう。考えよう。前進しよう。あとは神様がきつと見ている。運も味方してくれる。

もう一度言う。一番になるといのは、抜群に気持ちが良いことである。

## 会工55会結成

大濱 達明  
(S55K卒)

この会の結成は、会津工業を昭和55年度に卒業した者が参加するという趣旨で集まり、昨年度名の有志が酒宴の席で話し合いました。

令和元年に会工に、学校長の高梨先生が赴任され、ある時、こんな話がありました。

「大濱さんは、生徒会長だったから、会長でどうだよ。私は副会長でいいから」「会長は学

校長よりエライんだよ！」この様な会話で会の運営が決まりました。賛同者は10名から15名となり、元職員だった中丸先生も一緒でした。二次会はこの

れで安心です。

8月16日、前日まで台風で悪天候でしたが晴れとなり、夕方、生粋にて盛大に会合が行なわれました。

会場では、出逢った瞬間に奇声があがり、懐かしい学生時代の思い出が蘇りました。

57才になっても、生徒の頃の面影が残っていて名前がすぐに飛びだしました。

科は別であっても、部活動や趣味の話に花が咲き、楽しい時間があつという間に過ぎて行きました。気遣いも少なく、気楽に参加できる会合は、あまりありませんから新しい体験でした。

自己紹介では、政治の世界で活躍している人や、都会で会社を興した人など、社会の荒波で活躍されている方々の話を聞き、私にはとても出来ない事ばかりで、同級生ながら頼もしく思いました。「来年度は人数をもつと増やそう！」の声があがり、二次会、三次会のカラオケで親交も深まり、元気で来年も逢える事を願って解散となりました。

会長 大濱 達明  
副会長 高梨 哲夫  
幹事 森田 哲郎  
会計 中丸 淳



他14名の18人で発足しました。この会の結成に際し、様々な方々の御尽力下さった事に、深く感謝致します。ありがとうございました。

## 春の叙勲

活動全う先輩らのおかげ  
身、日本工業大建築学科卒。  
1977(昭和52)年に旧  
伊南村消防団に入団した。

◇瑞宝単光章  
河村 政朋さん 65  
南会津町古町  
元南会津町消防団副団  
長



「先輩、同僚、会社、家族のおかげで活動を全うできた」と感謝する。

現在は、伊南武道館長として剣道文化の普及に尽力する。

平成30年4月29日付 福島民報社  
河村政朋(昭46A卒)

## 県文化功労賞

### 宗形、渡辺さんに栄誉

#### 県文化功労賞 表彰式



第17回文化功労式は、福島市杉戸町に於いて約五十人が出席し、宗形、渡辺さんの表彰式が行われた。受賞者(宗形、渡辺)は、県文化功労賞の表彰状と、功労賞の表彰状を授けられた。宗形さんは、福島市、会津工業協会の顧問として、功労賞を授けられた。渡辺さんは、会津工業協会の顧問として、功労賞を授けられた。宗形さんは、会津工業協会の顧問として、功労賞を授けられた。渡辺さんは、会津工業協会の顧問として、功労賞を授けられた。

平成28年10月11日付 福島民報社  
渡辺正夫(昭27K卒)

## マスターズ駅伝競走3連覇

### 福島でマスターズ駅伝競走大会



1時間13分49秒で三連覇を達成した。県内外から高校OBの部員が参加した。男子の部は、四チームの部員が参加した。女子の部は、五チームの部員が参加した。大会は、会津工業が主催した。大会は、会津工業が主催した。大会は、会津工業が主催した。

### 高校OB会津工OB鬼3連覇

令和元年9月20日付 福島民報社

## 会津工高生2人、難関合格

須貝さん、品質管理検定2級  
大関さん、応用情報技術者



合格証書を手にする須貝さんと大関さん

令和元年8月23日付 福島民友  
須貝旭(3年科)、大関雄人(3年科)



# 母校だより

## 生徒一人一人の輝かしい未来のために



教頭 新方 浩二

同窓会の皆様におかれましては、本校の教育活動に際しまして多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年四月に歴史と伝統のある会津工業高等学校に着任し本校の歴史と伝統の奥深さを感じました。本校は、明治三十七年に「福島県立工業学校」として開校してから今年で創立百七十年目を迎える県内で一番歴史のある工業高校であり、多方面にわたり優秀な人材を輩出し活躍される等、輝かしい功績があります。

赴任当初、校内を巡回すると、各科の実習室にある力強い作品や情熱溢れる作品等を見ることができ、普通科出身の私にとっては観るものが新鮮であり、会工の息吹を感じることもできました。また、全校生徒が一丸となって行われる校歌・応援歌練習では一糸乱れぬよう一生懸命に取り組み姿が印象的でした。良き時代の伝統がここにも引き継がれ、この原点が普段の挨拶や部活動、進路活動に生かされていることが分かりました。

昨今、我が国では、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により社会構造や雇用環境が大きく変化しています。また、一人一人が持続可能な社会の担い手として、多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されています。このような中、私たち教職員は、時代の変化に対応すべく資質向上に努め、時代に即した教育を推進しております。

歴史と伝統を守りつつ新たな躍進に向け、さらには「生徒一人一人の輝かしい未来のために」同窓生の皆様には、今後とも相変わらずのご指導とご支援、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 進路指導部から

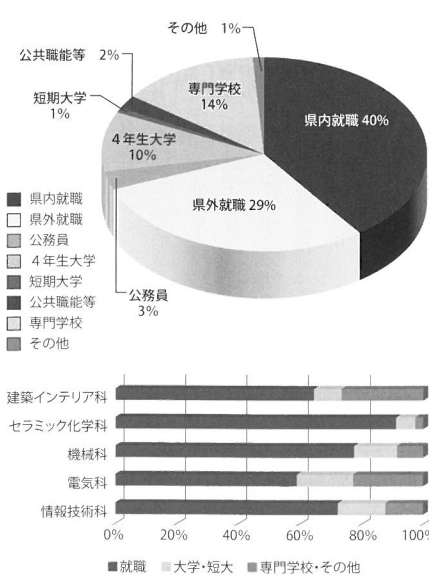


主任 大塚 正幸

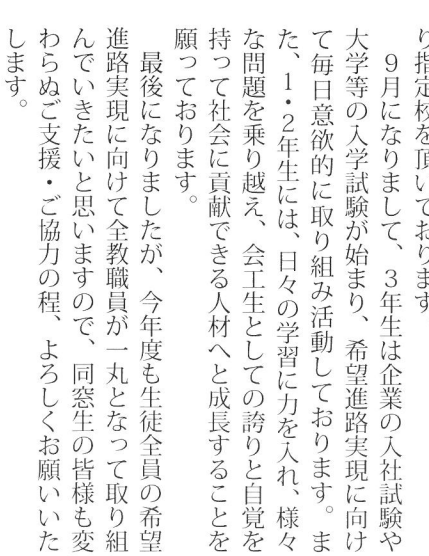
同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。さて、昨年度の進路状況をまとめましたのでご覧ください。

就職者の合計は、171名でした。このうち民間就職内定者は、163名で卒業生徒の70%程度となり、一昨年度、昨年度よりさらに就職者の割合が増加しました。求人数も1100件を超えています。深刻な労働力不足のため製造、建設、電気関係など多くの産業での求人が増えています。震災復興関連事業は落ち着きつつあるようですが東京オリンピック開催を間近に控え、公共事業にまだ継続的な需要が見込まれているといえます。さらに近年は以前よりも早く県内企業の求人票が提出される傾向にあります。また、昨年度1社目の挑戦で内定を頂いた割合が95%を超えました。

グラフ1 平成30年度 卒業生進路状況(全体)



グラフ2 平成30年度 卒業生進路状況(科別)



ここ数年では最も高い合格率でした。公務員については、8名合格し、人気の高い職種は昨年度も警察、消防、自衛隊という傾向でした。進学者の合計は、59名でした。大学・短大の割合が低く専門学校が割合が上回りました。進学者全体の割合は昨年よりやや減少し、国公立の大学は会津大1名のみ合格にとどまりました。大学進学者の多くは、ほとんどが指定校推薦で工業系の学部に進んでいます。工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を活かした企業への就職を考えているようです。専門学校進学者は、どちらかというと工業関係以外の分野、例えば医療・美容・ファッション系の専門学校に進学する生徒が多かったようです。今年度の状況としては、就職・進学ともに昨年同様に恵まれた状況です。具体的には、就職については8月末現在で県内企業270社程度・県外企業940社程度の合計1200社以上の企業より求人票を頂いております。進学についても8月末現在で大学82校・短大22校の合計104校より、専門学校については83校より指定校を頂いております。

9月になりました。3年生は企業の入社試験や大学等の入学試験が始まり、希望進路実現に向けて毎日意欲的に取り組み活動しております。また、1・2年生には、日々の学習に力を入れ、様々な問題乗り越え、会工生としての誇りと自覚を持って社会に貢献できる人材へと成長することを願っております。

最後になりましたが、今年度も生徒全員の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、同窓生の皆様も変わらぬご支援・ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

## 平成31年度新入生

入平成31年4月8日に、240名(男子197名、女子43名)の新入生が高梨校長先生より入学を許可され、令和元年7月19日に1学期終業式を迎えました。各クラスがそれぞれの個性を見せているようです。

まず、各クラス担任を紹介いたします。建築インテリア科(男子20名、女子20名)担任は長谷沼徹で教科は工業(建築)です。本校は初任で5年、平成25年に2度目の赴任をして、7年目となります。セラミック化学科(男子23名、女子17名)の担任は大木孝之先生で教科は理科です。平成30年に会津高校から赴任され本校2年目です。機械科1組(男子38名、女子2名)の担任は古川高清先生で、教科は工業(機械)です。平成30年に新採用で本校2年目です。機械科2組(男子40名)の担任は馬場正丈先生で、教科は保健体育です。今年度坂下高校から赴任され本校機械科のOBでもあります。情報技術科(男子36名、女子4名)の担任は安部有香子先生で、教科は英語です。今年度会津学鳳高校から赴任されました。このように、本校2年目の先生が3名、1年目の先生が2名と、新入生同様に新鮮な気持ちで過ごせた反面、慣れない環境で緊張や戸惑い、苦勞も多かった1学期

1学年主任 長谷沼 徹

だったと思います。1学期を振り返ると、入学当初の4月は学校行事等も多くその中でも特に印象的だったのは校歌応援歌練習だと思えます。歌詞も覚えていなかった生徒達が4日間の懸命な練習後、5日目の全体練習には体育館全体に響き渡る校歌を披露してくれました。校歌を声高らかに歌えるのが会津工業生の良いところで、これが会工生としての自覚と誇りを身に着けることができたいと思います。また、1学期の終業式では、校長先生より校歌の歌詞の詳しい解説もあり、今後は一語一句の意味を踏まえて歌うことができることと思えます。

入学当初から、「元気で明るく、楽しい学校生活」を目標に、「ALL 1 学年」として担任、副担任の先生で協力・連携してやってきました。2学期以降も生徒が勉強や部活動、資格取得などに向けてそれぞれの目標を持ち日々取り組んでいける環境を作って行きたいと思えます。生徒の中には、本校同窓生の保護者の方も多く、自分の子供を本校に入学させてよかったと思っただけでなく、工業高校にしていきたいと思っておりますので、同窓諸先輩方の応援をよろしくお願ひいたします。

## 令和元年度2学年



2学年主任 大原 満

ついこの間、2年生に進級したかと思うともう夏休みです。卒業まで折り返し地点にきてしまいました。2年生は、中だるみの時期と言われますが、今年の2年生も例外ではなく、1学期は問題行動が多発しました。1年の時に「特別指導もこのまま卒業まで0人ならばいいと願っています。」と書きましたが、願望は願望のままです。

遅刻は当たり前、無断欠席、飲酒・喫煙・無断外泊、深夜徘徊、自転車窃盗、いじめ、暴力などなど社会的問題となるようなことが平気で行われました。その中で数名は、転学しました。また授業においても成績不良科目を所持している生徒も、多数ありました。

一部の家庭や一尾の先輩は、「家でたばこを吸ってはいいいが、外では吸うなよ」「家でお酒を飲んでも外では飲むなよ」「1回ぐらいいいんだ」と教えたりから、何をやってもいいんだ」と教えたりする。生徒は、生活面では、「見つからないければ、何をやってもいいんだ」、学習面では「赤点とつても進級できるから大丈夫だろ」と後で挽回するからこのくらいで大丈夫だろ」という甘い考えの口元を過ごし、検査期間中でさえもカテオケなど遊んで過ごす。当然、提出物の未提出などは「たぶん赤点にはならないだろう」という自分勝手な判断で行動をとってしまう。高校生としての自覚の無さに

哑然としてしまいます。基本的な生活習慣という言葉をよく耳にしますが、家庭での生活が基本となり、学校で教えることが多くあります。高校生ですから、最低でも査前の勉強は全力で行い、提出物も催促される前に提出するようにして欲しいと思います。節度のない生活・無神経で利己的な行動で学校全体・地域社会に大きな迷惑をかけていることは、家庭・学校・同窓会・地域で考えていかなければならないことだと思えます。

2学期は、行事が多いです。まず10月上旬に行われる3日間のインターンシップ。自己を見つめ、進路について真剣に考える期間です。インターンシップが終わるとすぐに体育祭・球技大会があります。10月下旬には修学旅行です。関西方面(京都、大阪)を中心に旅行先の歴史、文化、芸術、風土等についての見識を深め、また、団体行動の中で、規律ある生活態度を養い、さらに、高校時代の楽しい思い出をつくり、生徒同士の親睦を深めて欲しいと思います。

最後になりましたが、生徒は、まだまだ我が儘で人任せですが行動をすることができない面があり、社会や他人に迷惑をかけない、学力に優れ、健やかな生徒を育成することを目指して行きたいと思っております。諸先輩方の様々な場面での応援を今後もよろしくお願ひいたします。

# 母校だより



## 人生の大切な分岐点



3学年主任 岩沢 巖

この原稿を書いている9月10日、首都圏を強い勢力の台風15号が直撃し、千葉市では最大瞬間風速57・5mの観測史上1位。また、1時間雨量でも東京都江戸川区では72・0mmで、9月1位の記録だそうです。首都圏の通勤列車も計画運休ということで、乗換駅など大変な混み具合のようです。台風一過ということもあり、35℃を超える日が続くそうですが、東京會工会の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと、お祈り申し上げます。

3月くらいから三者面談を行い、進路についての相談を行ってきましたが、まだまだ漠然とした目標しか掴めない状態の生徒が多くみられました。夏休みに入り、暑い教室や実習室などで汗だくになって2回目の面談を行ったクラスもありました。昨年度の夏季の気温が高温だったため、熱中症になる生徒が県内でも多く聞かれるようになりました。そのこともあって教室にエアコンが入り、2学期から使用できるようになったのはいいのですが、夏休み中は使用できずにいたのです。

今年の求人状況はとも好調で、昔からお世話になっている地元企業でも、就職希望者の絶対数が少なく、受験希望者が出ないような状況になっています。生徒たちは、自分が希望した企業が、自分の適性にあっているのかどうかなどを極めるために、夏期休業中を利用して『受験前職場見学』を各企業にお願いしていると

ころではありますが、緊張しながら職場見学をし、この会社に就職したいという思いを強くしたようでした。

夏休みの後半は履歴書を書くために、四苦八苦の日々が続きました。志望の動機がうまくまとめられず、多くの先生にアドバイスをもらっている生徒もいました。また、清書の際には、誤字脱字や書き間違いなど、提出期日ぎりぎりまで直している生徒もいました。その後『就職受験申込書(推薦願い)』に押印をしてもらうために、職員室や校長室前の廊下には、多くの生徒が並ぶ姿がありました。

新学期が始まり、面接週間を利用して面接練習を行いました。科の先生方が中心になり、放課後の時間を利用して面接の練習を繰り返し行っています。なかなか思うようにならず何度も指導されていました。普段使わない敬語などがうまく話せなかったり、質問の内容に答えが一致しない時があるようです。休み時間や自習時間がある度に、一般常識やSPIの対策など、筆記試験に向けた取り組みも頑張っていました。

就職者に限らず進学や公務員希望の生徒も、一生に何度もない人生の大切な分岐点に立っています。そして、いよいよ9月16日から就職試験が始まります。悔いが残らないよう全力で頑張ってください。我々3学年担任一同、生徒全員が笑顔で卒業してくれることを願っています。最後になりましたが、同窓生の皆様方には、3月に卒業する生徒たちを、温かく迎えて頂くよう、お願い申し上げます。

### 松江賞



建築インテリア科 磯部 拓光



機械科二組 玉川 陸



建築インテリア科 高木 啓汰



機械科二組 星 輝彦

### 同窓会賞



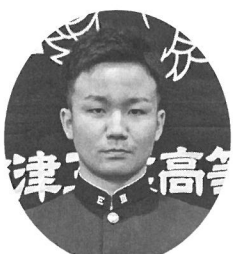
セラミック化学科 小野 由香子



電気科 佐治 樹



セラミック化学科 高橋 諒



電気科 大竹 雄志



機械科一組 渡部 聖也



情報技術科 齋藤 竜磨



機械科一組 鶴水 利空



情報技術科 鈴鹿 翔龍



平成30年度卒 (平成31年2月28日受賞)

## 同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます

投稿用メールアドレス [kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp](mailto:kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp)



### 〈手順〉

- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
- ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
- ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
- ④URLを開くを選択しますとブラウザ選択画面が表示されますので、お好みのブラウザを選択してください。
- ⑤同窓会関連連絡を選択します。
- ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。



QRコード



# 平和の覇者を育みぬ。

校歌から

## 学び舎 ロケーション——①専門課程は、いま。

### A 建築インテリア科

主任 菅家 慶広  
同窓生の皆様方、特に建友会の諸先輩方には日頃より大変お世話になっており改めて感謝申し上げます。今年度も本科の生徒は勉強に資格取得、部活動、生徒会活動に明るく積極的に取り組んでおります。今年度の建築インテリア科の関係職員は以下の通りです。よろしくお願いたします。

【建築インテリア科関係職員】  
※今年度新たに転入  
菅家 慶広(主任)  
長谷沼 徹 佐藤 聖  
※渡辺 学 高橋 弘光  
飯塚 誠 ※遠藤 智秀

【クラス担任】  
◆1年  
担任 長谷沼 徹  
副担任 高橋 美美(数学科)

◆2年  
担任 日出山亜希子 (国語科)  
副担任 菅家 慶広

◆3年  
担任 佐藤 聖  
副担任 井関有希子(国語科)

さて進路状況ですが、ご存じの通り最近建設関係の求人数が大変多く、また多くの建設系企業が労働条件や勤務体系を見直し、以前よりかなりの改善と工夫がなされ、また女子の受け入れ態勢もかなり整ってきています。建築の道に進もうと希望している生徒たちにとっては大変幸せな時代だと感じています。今年度の3年生は就職・進学希望がほぼ同数となっており、建築関係の就職希望者として建築・デザイン系の大学・専門学校への進学希望者の割合が多くなっている状況です。昨年度の生徒たちの活躍を紹介いたします。まず大阪芸術大学グループ主催の「高校生アートコンペティション2018」において星 李奈さんと本名 未紀さんの合作が建築部門で銅賞を獲得しました。全国からの応募



総数が1851点の中での4位という見事な成績です。また全国工業高等学校長協会におけるゴールドが4名、シルバークラスが2名を輩出しました。国家技能検定3級(建築大工)は6名が合格しました。大熊町復興のための応援の一環で3年生が課題研究で県土木部と連携し、また地元企業の方の指導をいただきながらストリートファニチャー(テーブル・イス)の製作に取り組みしました。この活動はマスコミにも大きく取り上げられ評判を呼び、7月に無事大熊町に贈呈されました。



製作途中大熊中学校の生徒たちとの共同作業もありました。さて去る6月に今年も建友会総会が盛大に開催されました。校長をはじめ職員3名が懇親会に出席させていただきました。懇親会には大先輩から卒業間もない若い同窓生が笑顔で交流する姿に感動し、あらためてこの組織の歴史と結束力を感じました。今後とも後輩のために厳しくも温かいご指導、ご支援をお願いいたします。令和2年2月7日から9日に会津藩古堂で恒例の本科作品展を開催いたしますのでぜひ足を運んでいただければ幸いです。

### C セラミック化学科

主任 石崎 晃  
同窓会の皆様には、日頃よりご協力いただき厚く感謝申し上げます。さて、昨年度末の人事異動により、長く本校に勤務していらっしゃいました村山彰一先生と山野敏先生が栄転しました。その代わりに、郡山北工業高等学校より大塚正幸先生が、会津支援学校から熊谷好広先生が本校に戻って来られました。また本年度の新入生は、本県の工業科で一番の倍率を征し、フレッシュな40名を新たに迎えることができました。では、セラミック化学科



の一年の出来事をご報告させていただきます。クラスの内籍状況は次のとおりです。  
〈生徒の状況〉  
・1学年 男子23名、女子17名  
・2学年 男子25名、女子14名  
・3学年 男子20名、女子19名  
(担任:加藤善範、副担任:佐々木重人)  
〈主な学科の取組と行事〉  
4月 科対面式、セラ友会花見  
5月 会津総合美術展出品  
6月 福島県総合美術展出品  
7月 工場見学(3年)  
セラミック能力検定(3年) 29名合格  
8月 工場見学(1年)  
9月 セラ友会定期総会・20周年記念美術展  
10月 全国統一陶芸検定 初級5名、中級3名、上級1名合格  
10月 会津支庁お茶会  
10月 陶祖祭  
10月 ものコン県大会(化学分)

### M 機械科

主任 茂木 利幸  
今年度の人事異動では、長年教員生活をされてきた前の機械科長渡部哲先生がご退職となりました。また、本校に5年間勤務された鈴木雅博先生が、小高産業技術高校に転出。4年間勤務された山田賢先生が、白河実業高校に転出。新採用で昨年着任された金子卓矢先生は栃木県の採用試験に合格され、栃木県今市工業高校の教員となりました。

その後任として星義一が小高産業技術高校から、荒木田優哉先生が新卒で、山内卓也先生が小高産業技術高校からそれぞれ着任されました。そのため今年の機械科のスタッフは、13名でのスタートとなりました。機械科は、本校の工業科の中でも、最もバランスのとれた年代構成になっており、素晴らしいスタッフフであります。担任は、1年生は1組古川高清教諭・2組馬場正文教諭、2年生は1組武田秀幸教諭・2組佐野正司教諭、3年生は1組岩沢巖教諭・2組佐藤和久教諭の6名でクラス経営にあたっていきます。

機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。ただ、最近、基礎学力の低下が顕著に見られるため、基礎・基本の定着と基礎学力の向上を図るべく、職員一丸となって取り組んでいます。昨年からは今年にかけての、機械科の各種の取り組みや現状について簡単に報告させていただきます。

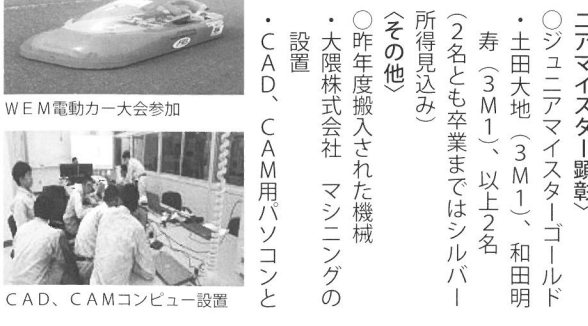
- 〈機械科の行事から〉
- ・4月:新入生対面式 機友会花見
  - ・7月:同窓会機友会から機械研修部への激励金贈呈式
  - ・9月:基礎製図検定
  - ・10月:会工祭、インターンシップ、修学旅行
  - ・11月:ふいご祭
  - ・12月:三級技能検定(普通旋盤) 後期講習会及び試験
- 〈進路について〉
- ・1月:機械科課題研究発表会
  - ・2月:同窓会機友会入会式
- 昨年の進路状況は、就職が63名(内公務員2名)、4年生大生2名、専門学校8名の計73名巣立ちました。また、昨年は73名全員が第一希望で内定しました。内定率100%を達成することができました。

00%を達成することができました。昨年も、多くの企業からの求人があり、生徒にとっては選択肢の幅が広く、担任として大変助かった年になりました。今年も多くの人があり内定率100%を目指して進路指導をしていきたいと思っております。しかし、近年問題になっているのは、少子化により長男が県外就職を希望する例が多くなってきていることです。そのため、中には2年〜3年で会社を退社して地元に戻ってくるケースが見られるようになってきました。我々としても、進路決定の時には、保護者・本人に十分考慮させて決定しているのですが、結果的に企業に迷惑をかけてしまうのが現状です。今後は、企業の斡旋には、ミスマッチの起こらない対応をしたいと考えています。

- 〈各種大会での参加と活躍〉
- 福島県高校生ものづくりコンテスト2018 旋盤作業部門 第3位
  - ワールドエコノムープ2019 (大潟村) 総合18位、Jクラス9位
  - 福島県高校生ロボット競技大会 予選敗退
  - 本田 宗一郎杯ホンダエコマイルレッジチャレンジ全国大会2019 グループII(高校生クラス)、2人乗りクラス)今年度も参加予定

〈各種イベントへとコンテストへの参加〉

- ロボコンinあいつ2019への参加と協力
- 各種資格取得について
- 機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検定(普通旋盤)など、専門分野の資格に多くの生徒が数年前は挑戦して、すばらしい結果を残していましたが、ここ数年資格に挑戦する生徒が少なくなっています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も少なくなっています。この現状を、現況です。
- 全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰
- ジュニアマイスターゴールド
- ・土田大地(3M1)、和田明寿(3M1)、以上2名(2名とも卒業まではシルバースタッフ)
- 昨年度搬入された機械
- ・大隈株式会社 マシニングの設置
- ・CAD、CAM用パソコンと



WE M電動力一大会参加  
CAD、CAMコンピュー設置



析部門)  
11月 市民美術展応募  
外部講師招聘授業(1年)  
12月 ろくろ技能検定講習会  
1月 ろくろ技能検定  
陶磁器能力検定(1年)

2C石川ゆめ(3位)  
1C梅宮佳祐(6位)  
H31会津総合美術展  
「緑結」石川ゆめ(3年)  
【青少年奨励賞】  
「風韻」夏井将剛(3年)  
「青龍」芳賀芳輝(2年)  
「青魔」小椋流空(2年)  
「幻雪」菊地柊人(2年)



設立20周年美術展  
(R元年7月18〜21日)  
会津藩古堂で開催され、セラ友の諸先輩とともに、作品を展示した生徒たちも受付や会場内の案内をした。多数の一般客が見学していった。  
展示生徒作品  
「灼焙」しゃくよう(夏井 将剛(3年))  
「結咲」けつさく(石川 ゆめ(3年))  
「雪景」せつけい(菊池 柊人(2年))  
「雪原」せつげん(芳賀 義輝(2年))  
「独風」どくふう(小椋 流空(2年))



して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。

## 電気科

主任 永倉 良正

今春の人事異動で、これまで主任を務めてこられました井上浩一先生が郡山北工業高校へ転任され、小高産業技術高校から着任しました永倉が主任を務めることになりました。若輩者で至らぬ点も多々あると思いますが何卒宜しくお願いいたします。また、齋藤啓先生が喜多方桐桜高校、佐藤伸哉先生が喜多方東高校へ転任され、喜多方桐桜高校より中野善司先生をお迎えして、本年度の電気科教員は6名となりました。

担任の先生を紹介します。1年は鈴木大樹先生で担当教科は工業（電気）、2年は齋藤辰也先生で担当教科は保健体育、3年は片寄悦広先生で担当教科は地理・歴史（世界史）です。〈平成30年度電気科の活動状況〉  
1 平成30年度の進路状況  
就職希望者は23名で、県外企業8名、県内企業14名、公務員（福島県職員）1名でした。ここ数年、高卒者を求人する企業

が増加しており、良好な状況が続いています。進学希望者は15名で、4年制大学に7名、専門学校に8名でした。

2 平成30年度の主な行事  
毎年、東北電力のご厚意により発電所を見学させていただいております。  
1年生 東新潟火力発電所  
2年生 柳津西山地熱発電所  
第二沼沢発電所

この発電所見学は、学校で学んでいる発電の仕組みやエネルギーについて理解を深めるとともに、将来の進路選択に向けて職業観を養うとてもよい機会となっております。また、福島県電気工事工業組合青年部の皆様が工業高校の電気科生徒を対象に「学生交流セミナー」を開催しており、本校でも2年生が青年部の皆様と将来の進路について意見を交換し



大隈マシニングセンター設置

たり、高所作業車や電動圧配管・配線工事の作業などを体験したりしました。この「学生交流セミナー」は、インターンシップとともに電気工業界について理解を深め、進路について考えるとても貴重な体験となっております。  
3 資格取得状況  
第二種電気工事士試験は、1年生31名、2・3年生11名の42名が合格しました。学年度末での第二種電気工事士取得率は下記のとおりです。  
1年生 77.5% 2年生 74.4% 3年生 82.1%  
平成23年度より、新入生全員に第二種電気工事士試験を上期で受験させています。卒業までには、すべての生徒に第二種電気工事士免状を取得させたいと思っております。  
第一種電気工事士試験は、合格者が11名にも上りました。今後一人でも多くが第一種電気工事士に合格できるよう取り組めます。  
4 コンテストおよび外部行事  
福島県高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」に1年生の高田悠平君が出場して第3位に輝きました。ものづくりコンテストの「電気工事部門」は、屋内配線工事の速さと正確さを競う技術競技です。  
5 これからの電気科  
近年、福島県では工業高校の電気科を志望する生徒が少なく

なっており、本校も例外ではありません。電気科教員一丸となって、専門科目の学習指導、特に実習と課題研究の充実を図るとともに、資格指導に努め、これからの新しい社会で活躍できる工業人を育てる魅力ある電気科づくりに邁進します。

最後になりましたが、同窓会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ厚いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 情報技術科

主任 佐久間 智広

今年度の報技術科担当教員は昨年度に引き続き、同じ先生方6名で担当しています。クラス担任は1学年に会津学園より新たに転任された安部有香子教諭（英語）、2学年にベテランの川井勉教諭（数学）、3学年に菊池研吾教諭（情報技術）が担当してクラス経営に当たっています。現在、情報技術科には全学年で118名の生徒が在籍しています。

情報技術科では、昨今の進展著しい情報化社会への対応はも



多い分野への取り組みなどバランスも考慮しながら、ソフト、ハードの両面から基礎をしっかりと身につけた上で、社会の変化にも対応出来る人材の育成を目指し取り組んでいます。

平成30年度の進路状況は、好調な求人状況を反映して例年よりも大学（情報系）への進学を希望する者が減少し、地元の会津大学、日本大学などへ6名、専門学校へは5名が進学しています。一方、就職者は地元、県外問わず製造業を中心に幅広く就職しており、県内企業へ10名、県外企業は15名が大手の通信系や電気系などの職種を中心に就職しています。製造業の現場ではIoTの活用や、組み込み技術などで装置への制御プログラムの実装する機会が増加しており、それに伴いITエンジニアの需要も増加の一途をたどる

ことが予想されます。情報技術科は情報関連のソフト面とハード面の両方を学習できる点において会津地区情報系学科では唯一であり、本学科の強みとしてこれからもより一層発揮されて行くものと思われま。なお、公務員へも市役所職員、警察官

自衛官など4名の内定者を出すなど幅広い進路に対応しています。〈各種大会・資格取得など〉  
・パソコン甲子園（プログラミング部門・予選突破、本選出場）、（5部門・佳作）  
・マイクロロボコン（全国3位）

・コンピュータアイデアコンテスト（アイデアコンテストの部・最優秀賞）  
・高校生ものづくりコンテストなどの各種大会へ参加しています。特にパソコン甲子園やマイクロロボコンの大会は全国レベルで競いながら優秀な成績を取

めるなど活躍中です。資格取得についても  
・応用情報技術者  
・基本情報技術者  
・品質管理（QC）検定2級  
・電気通信工事担任者  
・危険物取扱者甲種などの高校生ではかなり難関と

いわれる資格へも合格者を輩出しています。これからも、情報技術科は情報技術の専門科目の学習を通して、今後ますます進展する情報化社会へ対応でき、幅広い産業で需要の高まっている情報関連の技術力で各種産業に貢献でき

る人材の育成を目指して取り組んでいきたいと思。同窓会の皆様からは、日頃より教育活動にご理解を頂き心から感謝申し上げます。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 奮るえや会工の健男児

## 応援歌から

## 2019会工、鍛えの各部

心身共に成長することを目標に努力していきたいと思。取り組んでいます。

が人間力を磨き、チームワークを重視し、上位大会で活躍できるように、チーム一丸となって努力していきたいと思。今後ともよろしくお願い申し上げます。

へは3年に1度しか行けないのが残念です。那須の雪崩事故以来山岳部の取り巻く環境はとも厳しく、県内の各校では廃部が続いています。会工山岳部の火を消さないように無事故で頑張っていきたいです。

男子部が26名、女子部が12名の総勢38名で活動しています。休日は県外遠征や練習試合で他校のバレーボール部と切磋琢磨し、男女とも大会での勝利に向かって練習に励んでおります。

また、先生方やOB・OGの方々、多くの方からご指導・ご助言をいただき大変お世話になっております。今後とも感謝の心を大切に、一人一人

## 山岳部

顧問 川井 勉  
菅 家 慶 広



山岳部は1年生10名、2年生3名、3年生1名で活動しています。地区大会では主に三岩岳、駒ヶ岳、尾瀬、西吾妻へ、また県大会では吾妻、安達太良、磐梯山へ行っています。今年度の夏合宿は北アルプスの燕岳、常念岳を縦走してきました。1年生が7名と多く心配でしたが、病気がけもなく、天候にも恵まれ、槍ヶ岳や穂高連峰を見ることもできました。人気の表銀座縦走コースだけあり、とても登山者が多く、外国人のツアー登山者もいて驚かされました。山小屋はとも充実しているため、雨具と水とお金だけ持てば誰でも行けます。同窓会の方々もぜひ挑戦してみてください。北アルプスの雄大さは最高です。高校生では経費が掛かるため県外

## バドミントン部

顧問 馬場 正 丈  
栗田 好 志  
熊谷 好 広

バドミントン部は、男子24名、女子5名で活動しています。普段は週5日、平日3時間休日4時間の練習です。また、クラブチームにて活動している生徒もいれば、高校から始めた生徒もいます。実力や目標に差は生じ



バレーボール部  
顧問 福島 広 己  
湯田 ときえ  
佐々木 修  
岩橋 学





### ソフトテニス部

顧問 武田 秀幸  
中野 善司  
大木 孝之

令和元年度は、1学年男子16名、女子3名を迎え、総勢43名で活動しています。特に女子部員は人数が少なく、団体戦で不利な状況に苦しんでいますので、今後もっと多くの入部者を期待しています。

本校にはテニスコートがないため、会津若松市営のテニスコートを借りています。思うようにテニスコートを確保できない場合もありますが、そのようなときは自主練習や筋トレなどを行っています。

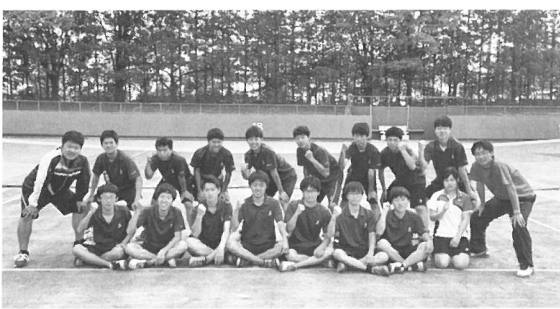
今年度のインターハイでは3ペアが県大会出場、総体では7



ペアが県大会に出場しました。県大会では思うような成績が残せておりませんが、今後は好成績を残せるよう、日々練習に励んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願致します。

### 硬式テニス部

顧問 齊藤 雅夫  
鈴木 大樹



硬式テニス部は、2年生8名、1年生9名の17名でインターハイ出場を目標として日々の練習に励んでいます。学校にテニスコートがないため、毎日の部活動は会津総合運動公園テニスコートや門田緑地テニスコートで取り組んでいます。日々の練習を経て、団体戦や地区大会の個人戦では、シングルス・ダブル

スとともに、上位入賞を果たし、県大会の出場権も得ています。また、本テニス部員の多くは、これまでにテニス経験がない生徒たちが多くいますが、そうした中でも全員が一生懸命取り組んでいます。今後も生徒一丸となって取り組んでいきたいと思っております。ご支援よろしくお願致します。

### バスケットボール部

顧問 阿部 哲也  
日出山 亜希子



バスケットボール部は、地区大会上位入賞、そして県大会で1つでも多く勝ち上がることを目標として、日々練習に励んでいます。3年生11名は、会工らしいプレーを貫いた、粘り強い戦いを展開してきました。地区大会で好位置を維持し、また、県大会でも健闘しました。持ち前の忍耐力で、最後の最後まで諦めない姿勢を後輩たちに示しました。また、マネージャー1名も選手と心を一つにし、献身的にチームを支えてくれました。

夏以降、2年生3名（うちマネージャー1名）、1年生11名（うちマネージャー1名）の体制で新たな会工バスケットボール部がスタートしました。持ち味のスピードバスケットを維持し、どのような相手にも会工らしいプレーが発揮できるように、体力の増強と個人技術の向上に取り組んでいます。大きなプレ

### 野球部

顧問 齋藤 辰也  
星 義一  
渡辺 学  
岩田 雅



現在野球部は、選手36名（1年生19名、2年生11名、3年生6名）、マネージャー4名で活動しております。一人一人の思いを活かし、主体的なチーム、多くの方から愛されるチーム、奇跡を起こせるチームを目指し、ミーティングや学校活動にも力を入れています。

伝統ある会工野球部の名を、そして会工の校歌を全国にとどろかせることを目標に、熱く日々練習に励んでいます。

日頃よりOBの皆様、地域の皆様、保護者の皆様のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

### 剣道部

顧問 古川 高清  
鶴沼 健吾



OB会各位には、鳥影会長を始め諸先輩方に日頃より物心面でご支援賜り心より御礼申し上げます。令和元年度は、古川先生、鶴沼先生ご指導の下、男子9名、女子2名の計11名で日々稽古に励んでまいりました。本年度のインターハイ県大会では、一回戦で敗退したものの、最後まで自分や仲間を信じ戦った事が出

来ました。特に個人戦で県大会出場を果たした浅野悠斗は、一回戦で敗退したものの自分の剣道を貫き、最後まで諦めない試合をしました。この大会で3年生は引退となりましたが、一人ひとりが全力を出し切った試合だったと思います。

今年は、3年生が引退すると男子4人、女子2人と厳しい所ではありますが、新部長の石橋正麗を中心にこれからも上位大会進出を目指し会工剣道部をより一層盛り上げていって欲しいと思います。

### 柔道部

顧問 大原 満  
菊池 研吾

今年度1名の新入部員を迎え、男子6名の部員で活動しています。平日は、16時から19時30分まで、土曜日は8時30分から12時30分までが練習時間となります。日曜日と水曜日は原則休みて学習時間を確保するように配慮しています。

練習は、全員初心者で、柔道を初めて経験する者ばかりです。練習内容は、平日は準備運動、寝技と立技の基本練習を主体に活動しています。その他、寝技の打ち込み、乱取り、立ち技のトレーニングや筋力アップのトレーニングなど多彩に活動しています。長期休業中は合宿や練習試合や遠征など結構ハードな

活動をしています。武道場は、昨年福島県より40畳の畳を購入していたのですが、現在は、古い畳と新しい畳が混在しており、レスリングの試合場のようになっています。しかし、古い畳はまだ破れたところがありテープで補修しながら大切に使用しています。その他にシャワールームや洗濯機も完備され、生徒には、夏の暑い時期に熱中症予防のため利用させています。恵まれた環境で部活動ができ、一心不乱に努力できるのも保護者の方々ははじめ同窓会の皆様方の御協力と御理解があればこそできることだと感謝しております。

今年度は、高校大会会津地区大会において男子団体は出場できなかったものの、個人戦では、男子2名出場し、男子81kg級第3位、90kg級第2位。県予選では、男子81kg級ベスト16、90kg級ベスト16、県総体地区大会では、男子3名出場し、男子81kg級8位、90kg級第1位、100kg級第3位。県予選では、男子81kg級ベスト16位、90kg級ベスト16、100kg級一回戦敗退という成績でした。

「継続は力なり」という言葉のとおり、部員達は、「休まず努力すること」を念頭に柔道と勉学を両立させて未来に向けて頑張っています。

### 水泳部

顧問 洪川 順一  
岩澤 巖

水泳部は、14名（3年生5名、2年生1名、1年生8名）で活動しています。そのうちマネージャーが3名で、選手が11名です。昨年度、3年生が引退してからは、1・2年の選手が3名という現状で心配していましたが、今年度8名の新入生の入部があり、再び活気がある活動ができるようになりました。

本年度は、県高校体育大会で200m自由形と400m自由形で優勝するなど（いずれも同一人物）4種目で東北大会に出場することができました。また、1年生ではありますが、機械科の齋藤洋太選手が令和元年度の国体選手にも選出され、県代表として全国大会に出場しております。来年度は、是非リレー種



### スキー部

顧問 相原 正裕  
茂木 利幸

会工スキー部は、アルペン競技とクロスカントリー競技の2種目で活動しています。毎年、全国高校スキー大会や全国高校選抜スキー大会・国民体育大会冬季大会スキー競技会・全国ジュニアスキー選手権大会等に本県代表として出場し、本県スキー界を牽引する活躍を担っています。

昨年度は、国体冬季スキー大会（イアンカラプテ・札幌国体）に三星瑠維（3E卒）、星将矢（現2A）がアルペン競技、小鮫響暉（現2E）がクロスカントリー競技に出場を果たしました。

目東北大会に出場したいと考えています。やはり、団体種目ですと、部内に活気ができ盛り上がりやすから。

水泳競技は、個人種目でありタイムを争う競技です。各自1秒でもタイムを縮め上位大会に出場できるように頑張っています。いとおもいます。水泳は、ダイエットなど健康維持に最適なスポーツでもあり、怪我の無い健康な体を維持するには最適なスポーツです。年齢に関係なく、自分のペースで取り組めることも魅力です。長い人生を通して継続できるものなので始めてみてはいかがでしょうか。

### 陸上競技部

顧問 石崎 晃  
大友 友里恵  
益子 茂  
高畑 利夫



2019-2020シーズンも、これまでの伝統を引き継ぎ、県高校スキー大会や県総体スキー大会や全国大会で活躍することを目標に「夏に泣き、冬に笑う!!」を合い言葉に、日々トレーニングに励んでいます。

今年度は男子4名（アルペン2名、クロカン2名）の選手構成ですが、各種大会において、会津工業高校スキー部の新たな歴史を刻めるようにチーム一丸となって頑張っており、今後もご支援のほど宜しくお願い致します。

日々の練習、試合、各種大会では、己に打ち勝ち、戦うことに成長をたくましく自分づくりに励んでいます。これからも、伸び伸びと元気に野球に夢中になる姿を皆様にお見せし、勇気や感動を与えられるようなプレーに励んでいきます。

これからも変わらぬご支援をよろしくお願いたします。

### 卓球部

顧問 児島 二郎  
小泉 龍

卓球部は顧問の児島先生、小泉先生のご指導の下、日々活動しています。現在は引退してし





### 弓道部

顧問 荒木田 優哉  
高橋 芙美  
武山 小百合

まいった3年生の先輩方6名、2年生10名、1年生5名の計21名が所属しています。

現在の練習メニューは基礎練習から始まり、次に多球練習でとにかく足を動かしてフットワークを鍛えたり、自分の苦手な技術を重点的に練習しています。

そして、実際の試合を想定した3級目攻撃の練習や、部員それぞれの課題に応じた練習を行っています。また、筋力トレーニングやランニングも行っており、技術だけでなく体の強化にも取り組んでいます。卒業生の方々に技術面・メンタル面のアドバイスをいただき、他校との練習試合を積極的に行うことで、更なる技術の向上を目指しています。

私たちの目標は、地区大会すべての種目で優勝し、県大会ではひとつでも多く勝ち進み、今までよりも更に良い結果を残すことです。日々お世話になっている顧問の先生、卓球関係者の

方々に感謝しながら、これからも活動していきたいと思えます。

福島県立会津工業高等学校は今年で創立116年を迎える福島県有数の伝統校である。弓道部の歴史も古く、その発足は昭和8年(1933年)にまで遡る。現在、部員数は男子32名、女子6名の計38名。保護者やOBなど多くの人々に支えられて活動している。

会津工業の弓道を一言で表せば「努力の集大成」である。その弓は日々の研究と矢数によって磨かれる。生徒は真剣に弓を教わり、書籍を通じて射法を研究する。言葉を発表し、一心不乱に弓を引く姿は、まさに本校校歌の中にある「至誠勤勞」を体現したものと見える。部員の一人一人が弓道に対する情熱を持ち、それらが彼らを動かす原動力となっている。

昨年度、県新人戦で準優勝・県選抜で優勝を果たし、東北大会・全国大会・東日本弓道大会に出場した。今年度はIH東北・全国大会出場の見込みを目標に部員一人一人が挑戦していくであろう。「会津地区の強豪」から「福島県の強豪」へ。厳寒会津で育つ弓道魂。良き伝統として受け継がれていくことを期待する次第である。



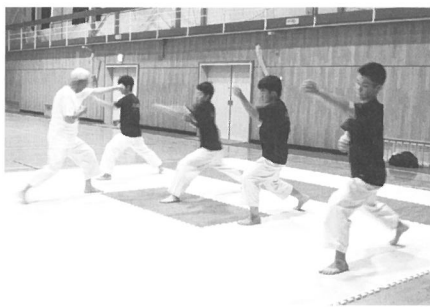
### 空手部

顧問 佐藤 聖  
安部 有香子

今年度は3年生3名、2年生4名の合計7名で活動しています。今年度は1年生が1人も入部せず、3年生を主体として日々の練習に励んでいます。昨年と変わらないメンバーで活動していますが、やる気や努力が日に日に低下しているように感じています。

そこで、今年の部活動は基本練習での声出しや気合を日々の練習で心掛け、昨年より気迫のある部活動にしていきたいと考えています。

11月の新人戦では1人1人の持つ力を全力で出し、悔い残さないようにいい試合をしていきたいと思えます。そして空手部でも培った精神を社会に貢献できるように頑張っていきたいと思えます。



### ボクシング部

顧問 長谷沼 徹  
永倉 良正  
遠藤 智秀

今年度、3年生3名(内女子マネージャー1名)、2年生7名(内女子選手1名、男子マネージャー1名)、1年生5名(内女子マネージャー1名)が活動しています。

練習は、会津第二高校の篠原宏和先生のご指導のもと、北3棟3階で、日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的

### 写真部

顧問 佐々木 重人  
片寄 悦広

私達写真部は、現在47名が在籍し、日々2割が精力的に活動しています。基本的活動日は、週3回(月・火・金曜日)です。身近な史跡等を写真撮影したり、銀塩写真のDPEなども行っています。

今年度は、市内の他校写真部と一緒に写真撮影技術講習会に参加し、撮影技術を学びました。夏には、同様に新潟方面での合同写真撮影会にも参加し、写真撮影をしました。

今後は、12月にいわき市で開催される県写真展に向けて作品作りに取り組んでいきます。また、冬には雪景色をモチーフにした作品作りにも取り組むみたいと思えます。



8月22日から25日に、第46回東北総合体育大会ボクシング競技が地元会津河東総合体育館で開催されました。建築インテリア科の大隅悠斗君がライトフライ級で第3位、2年機械科2組の児山蒼依君がバンタム級で1回戦負け、機械科3年2組の蟻浪航君がライト級で第3位、情報技術科3年長谷川宙君がライトウェルター級3位で少年の部第4位で、10月に茨城県で開催される国民体育大会の出場権を逃しました。しかし、成年の部の先輩達は第1位で国体出場権を獲得しました。

8月より建築インテリア科の実習講師として、本校情報技術科卒業生ボクシング部OBの遠藤智秀先生にもご指導をお願いし、今後も向上心を胸にこれからも部員と顧問が一体となって練習に励みたいと思えます。今後ともよろしくお願ひいたします。

### 美術部

顧問 佐瀬 和久  
本多 裕美

美術部では、展覧会やコンクールに向けた作品制作に日々取り組んでいます。今年度の活動としては、7月「会津地区高校美術連盟展」に絵画3点とイラスト1点を展覧しました。今後は、10月に會津稽古堂市民ギャラリーで開催される「U118の作品展」、12月に相馬市で開催

### 英会話部

顧問 佐藤 良美

今年度は、2年生4名、3年生13名が登録しています。みんな真面目でシャイな生徒ばかりです。教科書とは違った日常会話の練習やゲーム等を取り入れて、少しでも英語に親しめるようララックスした雰囲気です。週に1回程度の活動なのですが、科の検定や実習等で全員が揃うことはなかなか難しいようです。2学期はリスニング英語検定に取り組み、全員1級を目標に頑張りたいと思えます。

### 建築インテリア部

顧問 高橋 弘光

2年生の部員6名と1年生の部員2名は、10月中旬の「高校生ものづくりコンテスト2019」の課題として3級技能士の資格試験の実技の練習に、それぞれが励んでいるところで

3年生の部員はおりませんが、2年生が1年生に技術を教え込む様な形を取っており、この夏には2年生の4名が3級技能士の試験にチャレンジして、学科と実技共に受検者全員が合格致しました。

また、建築インテリア部のメンバーの他に、建築大工に興味のある生徒20名も、高度熟練指導者の講師の方から10日間の指

される「福島県高校美術展」、そして、1月下旬から喜多方市立美術館で開催される「高校生、あいつ美術展」に出展予定です。現在、1、3年生が中心となって風景画や静物画の制作に取り組んでいます。また、ペンタプレットによるCGイラストの制作も行っています。今後ともいい作品を発表できるように、頑張りたいと思えます。



### 吹奏楽部

顧問 栗城 和枝  
小関 裕一  
石井 洋子

現在、吹奏楽部は17名で活動しています。夏の吹奏楽コンクール会津支部大会(小編成の部)では金賞を受賞、同県大会においては、銀賞を頂きました。30名編成の団体が多い中、本校吹奏楽部は少人数での出場ではありましたが、部員一人一人がバ

1トの役割を果たし堂々と演奏してまいりました。

生徒達は明朗快活で直向きであり、音楽に対する情熱と一途な思いを持って日々の活動に取り組んでいます。難解な超絶技巧曲からクラシック曲・親しみやすいポピュラーな曲などレパートリーを増やしつづつ、表現することの楽しさや心から味わっていることも増え、音楽室にはいつも笑顔があふれ、パワフルな音と生徒たちの笑い声が響いています。

今年度も定期演奏会に向けて準備を進める中、多くのOB・OG様の温かいご指導と激励のお言葉を頂きました。後輩の活動を見守り支えて下さる先輩方の期待に応えるためにも、部員一人一人が演奏を企画しています。アイデアを出し合い創造性豊かなステージづくりに臨む生徒の姿に若い世代の無限の可能性を感じるとともに、脈々と受け継がれる会津工業高校吹奏楽部の歴史と伝統を実感致しました。

今後とも諸先輩方のご指導・ご支援をよろしくお願ひ致します。

### 演劇部

顧問 井関 有紀子  
石田 由紀子

演劇部は現在、3年生が春の発表会を最後に引退し、2年生2名、1年生5名で活動してい



少ない人数ではありますが、皆が協力して日々の練習に励んでいます。9月には「秋のコンクール」があります。このコンクールが唯一、上位大会へ進める大会となるので、まずは県大会出場を目指して頑張っています。普段は発声、滑舌、柔軟運動などの基礎力強化練習をしています。大会が近づいてくると、上演する劇の脚本作成、読み込み、役作り等を通して劇を仕上げていきます。お互いに意見を出し合いながら、多くの観客に楽しんでもらえる劇を目指しています。時には部員同士の意見がぶつかり合うこともありますが、でもその後は劇がより良くなり、部員同士の関係も深まるので、お互いの意見交換や意思疎通は大事にしています。また、時間を作って見に来てくださる先輩方からの助言も大き

な力となっています。これからの目標は、全員が楽しんで取り組める部活動作りをしていくことです。一人ひとりが、部のために何をすべきかを考え、他のどの高校にも劣らない最高の部にしていきます。そして、部員一人一人が県大会出場を目指して頑張っています。

### アマチュア無線部

顧問 佐久間 智広

現在の活動は、3年前に特別予算で購入した高出力の無線機を活用し、日々の交信活動を幅広く行いながら、各種のコンテストへ参加するべく技能の向上に努めています。今年度の部員は3年生1名に2年生2名で1年生は1名です。現在は免許を取得している3年生1名のみで交信を行っている状況です。今後は9月に2年生も免許を取得し、活動の機会を広げて行く予定になっており、今後の活動に期待が持たれています。





### 機械研習部

顧問 高橋 浩二  
大竹 良宣  
山内 卓也

◆カーブ活動  
今年も活動が始まり（実際は5月の大会を目指すために、製作活動は2月から開始）、唯一名の3年生現部長を中心に2年生主動で制作活動をしてきました。

令和元年5月始めには、秋田県「大湯村ソーラーズスポーツライン」を競技会場として開催された「2019ワールド・エコノムープ大湯大会」、競技コース6kmを12Vバッテリー4個で各チーム1000mコンテストですが、車両は各参加チーム自作で製作しておりカーボン製の力フルと高額の製作費をかけるチームが多い中、本校チームは生徒が作ってお金をかけない



従来通りのアルミフレーム・再生ベトナムカウルで車両を製作し競技に参加してまいりました。1日目公式練習会（スタート位置決定）では、順調に走行し53.523km（周回8周+5.523km）・総合18位・JKクラス9位、2日目の本戦では56.061km（周回9周+2.061km）総合17位・JKクラス10位と記録を残せたことは活動した部員に感謝し、来年に向けた活動の励みとなり入賞を期待したいと思っております。

9月下旬「省エネを目的としたガソリンエンジンの自作自動車」の大会にも参加します。令和元年9月28日（土）29日（日）に栃木県「ツインリンクもてぎ」自動車競技レース場を会場として開催される「ホンダ・エコマイレッジ・チャレンジ2019全国大会」で、ガソリン1リットル換算で1周約2kmのオバルコースでの走行距離を競います。この大会では1人乗り部門（高校生クラス）と2人乗り部門の2部門に出場し、昨年は1人乗り部門で規定周回7周を1リットル換算578.459km（41位）、2人乗り部門では本校初めての女子部員ドライバーでも心配でしたが、事故も無く走行し規定周回3周を1リットル換算261.879km走行してくれたのですが残念ながらタイムオーバー（周回規定時間超過）で記録して認められませんでした。2日ある大会が

台風の影響により初日の公式練習会で終わってしまったことは今でも悔やまれますが、今年度も前記録を越す（入賞を目指したい!!）大会にしたいと思います。



◆機械研習部ロボット班  
機械研習部のロボット班では主に毎年行われている県高等学校ロボット競技大会に向けたロボットを制作しています。今年9月12日に福島工業高等学校で、リモコン操作及びマイコンによる自動制御ロボットを作り、アイテムを取るアイデアを活かした競技に参加してきました。また、会津若松で行われているロボコンin会津2019にも出場を予定しており、小学生や一般選手に混じって入賞目指したロボット作りに励んでいます。応援よろしくお願いします。



年間を通じた活動として、新入生に対する部活動紹介（4月）、第2種電気工事士筆記試験（6月）、第2種電気工事士技能試験・中学生体験入学における電気科の紹介（7月）、第1種電気工事士筆記試験・ものづくりコンテスト県大会（10月）、第1種電気工事士技能試験（12月）などです。とりわけ電気部では「各種資格取得」と「ものづくりコンテスト」に力を入れています。また、実習や課題研究で活用される機材なども自分達で製作しています。

### IT研究部

顧問 山本 義文  
真田 郁夫

IT研究部は情報技術科の生徒で構成されている部活動で、大会班・資格班の2つの班に分かれて活動しています。大会班は主に、パソコン甲子園、マイコンカーラリー県大会、マイクロロボットコンテストなど様々な大会に出場しています。また、大会に出場するばかりではなく、各々が作りたいと感じ



たものを自由に製作することもできます。試行錯誤を繰り返して完成した製作物は、人のぬくもりが感じられる作品となっています。

資格班は、その名の通り1Tパスポート試験、基本情報技術者試験、情報技術検定1級などの情報技術分野の資格をはじめ、その他にも工事単車試験D3種、危険物取扱者試験やQC検定などの資格も取得しています。今年度は応用情報技術者試験に合格した生徒もいました。さらにレベルの高い資格取得に向けて日々勉強に励んでいます。

IT研究部は、個性豊かで優しい人たちが溢れています。大会班は上位入賞を、資格班はより多くの資格取得に向けて、悔いの無い結果を残せるよう、生徒一人一人が努力を重ねていきたいと思っています。

### 電気部

顧問 阿部 昇二

今年度の電気部は3年生17名、2年生10名、1年生2名の部員で構成され、指導は顧問をはじめ電気科の職員が担当しています。

### 茶道部

顧問 鈴木 美枝子

茶道部は同好会から部活動となり、今年度は3年生7名、2年生3名、1年生7名、合計17名で活動しています。今年度の茶道部の活動は、学校の和室でのお稽古の他「ふれあい茶会」「あやめ祭り」「学校茶道学習会」への参加です。

「ふれあい茶会」へは毎年参加し『学生茶席』にてお手前を披露させて頂いています。今回はミスなくお手前を披露することができたので、自分の成長を感じ、嬉しく思いました。後輩たちも陰出しで積極的に動いていたので、「引き続き頑張っていきたいです。」「あやめ祭り」と「学校茶道学習会」では普段の部活では学べないような作法をたくさん先生方に教えて頂き、非常に良い経験になったと同時に



### 生活科学同好会

顧問 齋藤 桂子

和気あいあいとした雰囲気の中、お菓子や料理作りを中心に活動しています。1学期は手軽に作れるものが多かったのですが、今後は手の込んだものにも挑戦したいと思っています。そして、もう少し調理技術を身につけたら料理コンテスト等にもチャレンジしたり、食の大切さについてさらに理解を深め、多くの人に伝える活動もしていきたいと考えています。



## 部活動大会結果報告

- ◆山岳部
  - 平成30年度第54回県高校新人登山大会 4名参加
  - 雄国山・猫魔ヶ岳
  - 令和元年度第65回県高校体育大会登山大会 4名参加
  - 安達太良連峰
- ◆サッカー部
  - 第65回福島県高等学校総合体育大会会津地区大会 第2位
  - 1回戦 対ザベリオ高校 2-0
  - 2回戦 対会津高校 6-0
  - 準決勝 対会津学鳳高校 1-0
  - 決勝 対喜多方高校 0-1
  - 第65回福島県高等学校総合体育大会県大会 1回戦敗退
  - 1回戦 対郡山東高校 1-1 (5PK6)
  - 高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2019福島(Fリーグ) 第8位(8月30日現在)
  - F2リーグ 第5位
  - F3リーグ 第5位
  - 全国高等学校サッカー選手権大会1次予選
  - 2回戦 対福島商業高校 1-2
- ◆バレーボール部
  - ◆男子
    - 第65回高体連・会津地区大会 第3位
    - 同 高体連・県大会 初戦敗退
    - 第69回全会津総合体育大会 第2位
    - 第72回福島県総合体育大会 ベスト16
  - ◆女子
    - 第65回高体連・会津地区大会 第12位
    - 第69回全会津総合体育大会 第8位
- ◆バスケットボール部
  - 第65回福島県高等学校体育大会 会津地区大会 第4位
- ◆野球部
  - 第65回福島県高等学校体育大会 1回戦敗退
  - 第69回全会津総合体育大会 第4位
  - 第71回春季東北地区高等学校野球大会 会津支部予選
  - 2回戦 会津工業 8-0 ◆会津高 (7回コールド)
  - 準決勝 ◆会津工業 4-2 若松商業
  - 決勝 ◆会津工業 13-15 喜多方桐桜 結果【会津地区 第2代表】
  - 第71回春季東北地区高等学校野球福島県大会 1回戦 会津工業 0-7 福島東 (7回コールド)
  - 第71回春季東北地区高等学校野球福島県大会 1回戦 ◆会津工業 9-7 喜多方 (延長12回)
  - 2回戦 ◆会津工業 3-6 ◆会津 準決勝 会津工業 3-6 ◆会津 結果【準決勝敗退 第3位】
  - 第10回全国高等学校野球選手権福島大会 2回戦 ◆喜多方桐桜 7-2 会津工業 結果【2回戦敗退】
  - 第71回秋季東北地区高等学校野球大会 会津支部予選
  - 1回戦 会津工業 3-4 ◆南会津 結果【本選1回戦敗退(敗者復活戦へ) (敗者復活戦)】
  - 1回戦 ◆会津工業 10-0 喜多方桐桜 (5回コールド)
  - 2回戦 ◆会津工業 3-2 葵 代表決定戦 ◆会津工業 0-4 喜多方
- ◆弓道部
  - 第65回福島県高等学校体育大会弓道競技会津地区大会 優勝 佳菜(2A)
  - 3位 磯部 優輝(2A)
  - 男子個人 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 男子団体 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 第65回福島県高等学校体育大会弓道競技会津地区大会 優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 3位 夏井 大翔(3M2)
  - 男子個人 準優勝 山口 功誠(3M2)
  - 男子団体 準優勝 山口 功誠(3M2)
  - 第69回全会津総合体育大会弓道競技会津地区大会 優勝 佳菜(2A)
  - 3位 磯部 優輝(2A)
  - 男子個人 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 男子団体 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 第69回全会津総合体育大会弓道競技会津地区大会 優勝 佳菜(2A)
  - 3位 磯部 優輝(2A)
  - 男子個人 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 男子団体 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 第72回福島県総合体育大会弓道競技会津地区大会 優勝 佳菜(2A)
  - 3位 磯部 優輝(2A)
  - 男子個人 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 男子団体 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 令和元年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 第64回全国高等学校弓道大会 優勝 佳菜(2A)
  - 3位 磯部 優輝(2A)
  - 男子個人 準優勝 佐藤 浩平(3E)
  - 男子団体 準優勝 佐藤 浩平(3E)



会工応援歌

一、鶏鳴三度地に鳴きて
会陽の地の朝ぼらけ
緋織鍔ふ若武者が
血潮高鳴る胸の鼓動

二、お胸躍る白虎の血潮
世々受け嗣ぎし会津魂
金瓯馬は芳草の
野に嘶くと謳わずや

三、今混沌の末の世に
重き使命はこれなりと
浮薄の俗を払うべく
鍛えし選手の腕見よ

四、淡き憂に暮近く
紫紺の夕の鐘の音に
唐紅の口を漏る
歓喜のどよめきかまほし

五、春繚乱の花吹雪
秋荒涼の夕間暮
たゆまず歩みし足跡は
今彼の地にて現われん

頑張れ応援歌

頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子
栄ある健児よ 理想の盾をば振りかざし
破邪の剣とりて起て 打てやこらせや
我等が敵を
勝ちて勇姿を世界に示すは この秋ぞ

奮るえや 会工の健男児

フレール フレール フレール

会工賛歌（創立百周年記念歌）

作詞 会工高・100周年記念事業実行委員会
作曲 Watanu Hokoyama (録山 巨)

一、あおぐ磐梯 我らの母校

いま黎明の 思い新たに

さあ進もうよ 真理もとめて

青春かがやけ 会工さわやかに

二、数えきれぬ 出会いと別れ

汗と涙と 友情はぐくみ

さあ語ろうよ 明日をみつめて

青春かがやけ 会工うつくしく

三、挑むころ 無限に広く

知恵を出し合い 技をみがいて

さあ創ろうよ 夢をかたちに

青春かがやけ 会工たくましく

平成31年度職員人事

Table with columns for staff names, positions, and departments. Includes categories like '転出者' (Transferring Out), '転入者' (Transferring In), and '前任校' (Previous School).

※継続
湯田ときえ(常勤講師 国語)
矢内 吉美(専門員 事務部)
奥 綾香(非常勤事務員 事務部)
神谷 祥平(副主任学校司書 事務部)
古澤 淳(臨時労務員 事務部)
松本 博美(事務PTA雇用 事務部)
高橋 信次(進路PTA雇用 事務部)
真田 幸子(購買事務PTA雇用 事務部)

平成31(令和元)年度同窓会活動協力金賛同者名簿
募金総額 1,464,000円 710件

Large table listing donors and their contribution amounts. Includes names, addresses, and donation details.

各支部役員名

(令和元年9月現在)

Table of branch members for the Eastern region, including names, positions, and graduation years.

Table of branch members for the Sagami region, including names, positions, and graduation years.

Table of branch members for the Sagami region, including names, positions, and graduation years.

Small table containing numerical data for various categories.

森波 菊渡 五波 飯平 永須 大芳 五十五 中玉 白佐 齋小 佐菊 菊渡 佐大 渡吉 星田 関宇 栗五 渡根 戸野 鈴木 大古 野齋 大牛 荒永 高兼 佐... (List of names and positions)

Small table containing numerical data for various categories.

坂永 千酒 山平 長高 冠大 大星 清新 佐佐 森平 菅遠 中田 五大 石大 横石 横齋 渡波 木佐 佐金 日荒 福田 物弦 佐五 金田 星五 西... (List of names and positions)

Small table containing numerical data for various categories.

弓堀 星徳 栗菅 佐楠 大荒 渡吉 福成 神及 五渡 山宮 長小 川門 吉吉 大五 佐武 志小 菅渡 渡鈴 鈴佐 小磯 湯物 星金 鈴中 大武 荒渡... (List of names and positions)

Small table containing numerical data for various categories.

渡真 中白 齋浅 田鈴 神白 佐國 安村 星佐 小日 菅鶴 荒星 星藤 長角 鈴管 近鹿 小細 長二 田高 白佐 佐岩 石平 室菊 大大 阿... (List of names and positions)

Small table containing numerical data for various categories.

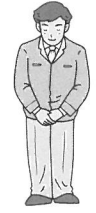
五安 鈴菊 池渡 渡影 細福 秦中小 白栗 阿浅 渡船 鈴酒 小望 角土 栗栗 芳板 阿渡 日村 天渡 横丸 新木 目皆 佐福 豊佐 菊五 皆蒲... (List of names and positions)

Small table containing numerical data for various categories.

小梅 梅小 滝齋 本田 早滝 佐五 澤川 金小 芳成大 鈴鈴 渡舟 小上 木真 樋坂 遠鈴 谷五 馬白 齋川 渡小 小渡 田瓜 五福 鈴渡 山鈴... (List of names and positions)

Small table containing numerical data for various categories.

昭昭 昭昭... (List of names and positions)



ご協力ありがとうございます 来年もよろしくお願ひ致します

昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭 昭昭... (List of names and positions)



# 会工同窓会本部役員

役職名	氏名	卒年	備考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出 松江春次顕彰会会長
会長	藤田晴史	S40E	本部選出
筆頭副会長	浅田 誠	S43E	本部選出 若松会工工会会長
副会長	田中健一	S42E	東京会工工会会長
副会長	鹿目忠明	S40E	会工電友会会長
幹事長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	佐藤義之	S42M	本部選出
副幹事長	荒川富士雄	S43M	本部選出
副幹事長	菊地壽雄	S48D	本部選出
副幹事長	荒井誠一	S49A	本部選出 会津美里会工会幹事長
副幹事長	渡部 哲	S52M	本部選出
幹事	江花光泰	S31L	本部選出
幹事	渡部昭寿	S34E	本部選出
幹事	安藤昭男	S35T	本部選出
幹事	近藤信行	S40E	本部選出
幹事	長谷川利彦	S41K	本部選出
幹事	武田芳仁	S47M	本部選出
幹事	野中寿勝	S50E	本部選出
幹事	長尾好章	S50T	本部選出
幹事	菅原正晴	S51A	本部選出
幹事	田勢光夫	S51A	本部選出
幹事	岩淵浩之	S54L	本部選出
幹事	森田哲郎	S55M	本部選出
幹事	渡部優生	S55M	本部選出
幹事	佐藤 満	S56A	本部選出
幹事	村澤 智	S62E	本部選出
幹事	渡部恵千子	H06D	本部選出
幹事	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
幹事	五十嵐 強	S48M	東海会工会幹事長
幹事	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
幹事	藤沼嘉典	S32T	郡山会工会幹事長
幹事	梅宮 昭	S39A	いわき会工会幹事長
幹事	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
幹事	武藤 寛	S45C	坂下会工会幹事長
幹事	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会副会長
幹事	佐野常雄	S31E	湯川会工会幹事長
幹事	白井達夫	S43E	電友会事務局長
幹事	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
幹事	梨子本 傑	S41K	セラ友会幹事長
幹事	五十嵐慧夫	S26M	日立会工工会会長
幹事	高橋 誠	S60E	三菱伸銅(株)鶴友会会長
幹事	大塚裕一郎	H3C	昭和電工(株)会工工会会長

役職名	氏名	卒年	備考
幹事	高橋 伸幸	S51M	日曹金属化学(株)会工工会会長
幹事	珊瑚優治	S59C	三菱製鋼(株)会工工会会長
幹事	徳永正浩	S55E	東京電力パワーグリッド会工工会会長
会計	渡辺 学	H13A	事務局
会計	菅家慶広	S56A	事務局
監事	佐野常雄	S31E	前会工電友会会長
監事	小山源昭	S38A	前建友会会長
監事	栗城和夫	S41M	機友会会長
参与	高梨哲夫	S55M	会津工業高校学校長
参与	田中健一	S42E	東京会工工会会長
参与	三井正春	S41A	東海会工工会会長
参与	石川善一	S39E	近畿会工工会会長
参与	大竹文夫	S31C	前近畿会工工会会長
参与	福地 勝	S30M	郡山会工工会会長
参与	二瓶嘉人	S39E	福島会工工会会長
参与	星 武	S27E	前福島会工工会会長
参与	大川原昌之	S28E	いわき会工工会会長
参与	梨子本 傑	S41K	坂下会工工会会長
参与	五十嵐一夫	S43A	前坂下会工工会会長
参与	江花俊和	S37T	猪苗代会工工会会長
参与	山口一男	S37A	前猪苗代会工工会会長
参与	菅沼章生	S29C	湯川会工工会会長
参与	栗木俊昭	S45D	会津美里会工工会会長
参与	白井武男	S45A	建友会会長
参与	栗城和夫	S41M	機友会会長
参与	二瓶正人	S37K	セラ友会会長
参与	渡部洋子	S32K	前セラ友会会長
参与	曾根賢治	S36L	前会工美修会会長
参与	坂内茂男	S32K	前監事
参与	関場一宏	S33K	前監事
事務局長	菅家慶広	S56A	会津工業高校教職員
事務局	大濱達明	S55K	会津工業高校教職員・会報編集委員
事務局	真田郁夫	S57E	会津工業高校教職員・ホームページ
事務局	馬場正文	H2M	会津工業高校教職員・会報編集委員
事務局	星 義一	H12A	会津工業高校教職員・鶴翔会館
事務局	渡辺 学	H13A	会津工業高校教職員・会計
事務局	遠藤智秀	H22J	会津工業高校教職員

\*副会長については各地区会工会を代表し東京会工工会会長が、修養会からは建友会→会工電友会→機友会→セラ友会の順で2年毎に就任。

## 松江春次顕彰会会長

若狭 春生氏(S38K)が留任



次回第113回総会は  
2020年10月17日(土)に開催しますので、  
是非ご参加ください!



同窓会会報編集委員

同窓会会報編集委員長  
荒川 富士雄

皆様にお願ひです。会報を受け取りましたら早めに、忘れない内に、同封の振込用紙で、協力の振り込みをお願いいたします。

皆様にご感謝申し上げます。  
令和元年の会報2019も無事発行することが出来ました。皆様にご感謝申し上げます。

今年も自然災害が多発し、台風19号では東日本、特に関東、東北地方に多くの犠牲者と被害が出ました。皆様の所はいかがですか。災害に遭われた皆さまにはお悔やみと、お見舞いを申し上げます。

### 編集後記